

# 津波浸水想定について

( 解説 )

## 1 津波対策の考え方

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による甚大な津波被害を受け、内閣府中央防災会議専門調査会では、新たな津波対策の考え方を平成 23 年 9 月 28 日（東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告）に示しました。

この中で、今後の津波対策を構築するにあたっては、基本的に二つのレベルの津波を想定する必要があるとされています。

一つは、住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で想定する「最大クラスの津波」（L2 津波）です。

もう一つは、海岸堤防などの構造物によって津波の内陸への浸入を防ぐ海岸保全施設等の建設を行う上で想定する「比較的発生頻度の高い津波」（L1 津波）です。

今般、「石川県津波浸水想定調査検討会」（学識者で構成）において、様々な意見をいただき、「最大クラスの津波」に対して総合的防災対策を構築する際の基礎となる津波浸水想定を作成しました。

### 津波対策を講じるために想定すべき津波レベルと対策の基本的な考え方

今後の津波対策を構築するにあたっては、基本的に二つのレベルの津波を想定する必要がある。

#### 最大クラスの津波（L2 津波）

- 津波レベル  
発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波
- 基本的考え方
  - 住民等の生命を守ることを最優先とし、住民の避難を軸にソフト・ハードのとりうる手段を尽くした総合的な対策を確立していく。
  - 被害の最小化を主眼とする「減災」の考え方に基づき、対策を講じることが重要である。そのため、海岸保全施設等のハード対策によって、津波による被害をできるだけ軽減するとともに、それを超える津波に対しては、ハザードマップの整備や避難路の確保など、避難することを中心とするソフト対策を実施していく。

➡ 総合的な津波対策を講じるための基礎資料として「津波浸水想定」を設定

#### 比較的発生頻度の高い津波（L1 津波）

- 津波レベル  
最大クラスの津波に比べて発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波（数十年から百数十年の頻度）
- 基本的考え方
  - 人命・住民財産の保護、地域経済の確保の観点から、海岸保全施設等を整備していく。
  - 海岸保全施設等については、比較的発生頻度の高い津波に対して整備を進めるとともに、設計対象の津波高を超えた場合でも、施設の効果が粘り強く発揮できるような構造物への改良も検討していく。

➡ 堤防整備等の目安となる「設計津波の水位」を設定

図-1 津波対策を講じるために想定すべき津波レベルと対策の基本的な考え方

## 2 留意事項

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- 平成23年度に県独自で実施した浸水想定区域を補助線（青色）として、津波浸水想定区域図に記載しています。
- 今回の津波浸水想定区域が、平成23年度に設定した津波浸水想定区域を下回る区域がありますが、シミュレーションの不確実性を考慮し、浸水の恐れがある区域として、避難行動をとる必要があります。
- 今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

### 3 津波浸水想定の記事事項及び用語の解説

#### (1) 記事事項

<基本事項>

- ①浸水域
- ②浸水深
- ③留意事項（上記2の事項）

<参考事項>

- ④最大津波高
- ⑤最大津波到達時間
- ⑥影響開始時間

#### (2) 用語の解説

##### ①浸水域について

海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域。

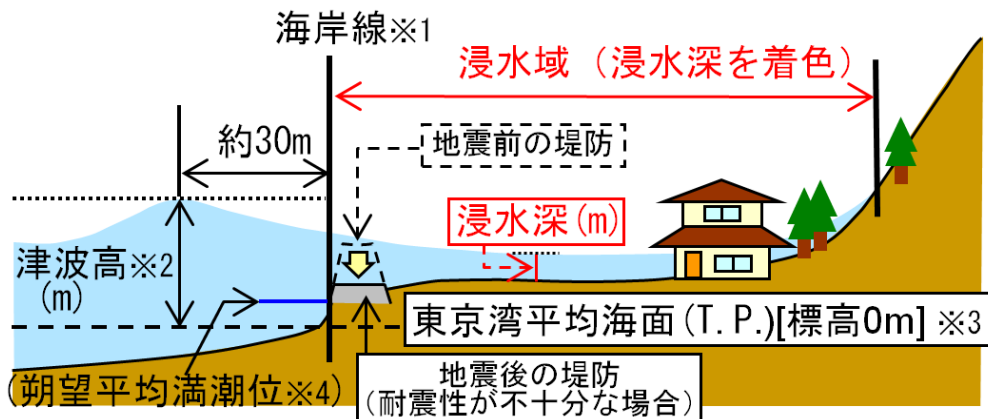
##### ②浸水深について

- ・陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。
- ・津波浸水想定の方後の活用を念頭に、図一3の凡例で表示。

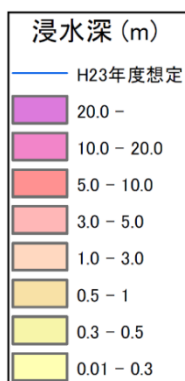
##### ③最大津波高について

海岸線から沖合約30m地点における津波を東京湾平均海面（T.P.）から測った高さで、最大となるもの。

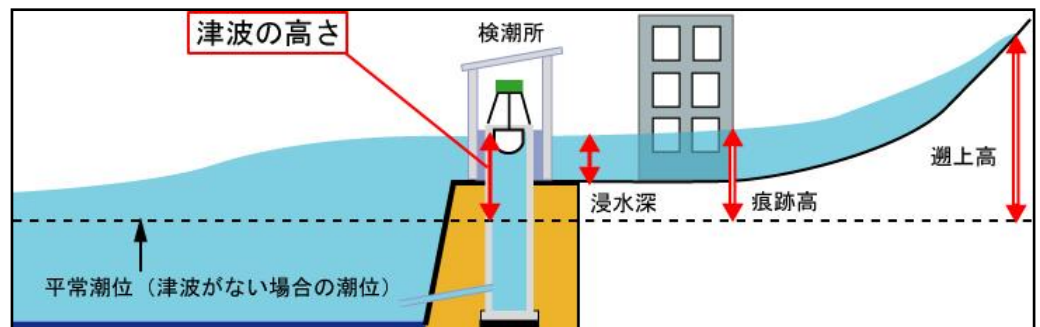
気象庁が発表する津波の高さは、平常潮位（津波が無かった場合の同じ時間の潮位）からの高さで、最大津波高とは基準が異なる（図一2、図一4）。



図一2 各種高さの模式図



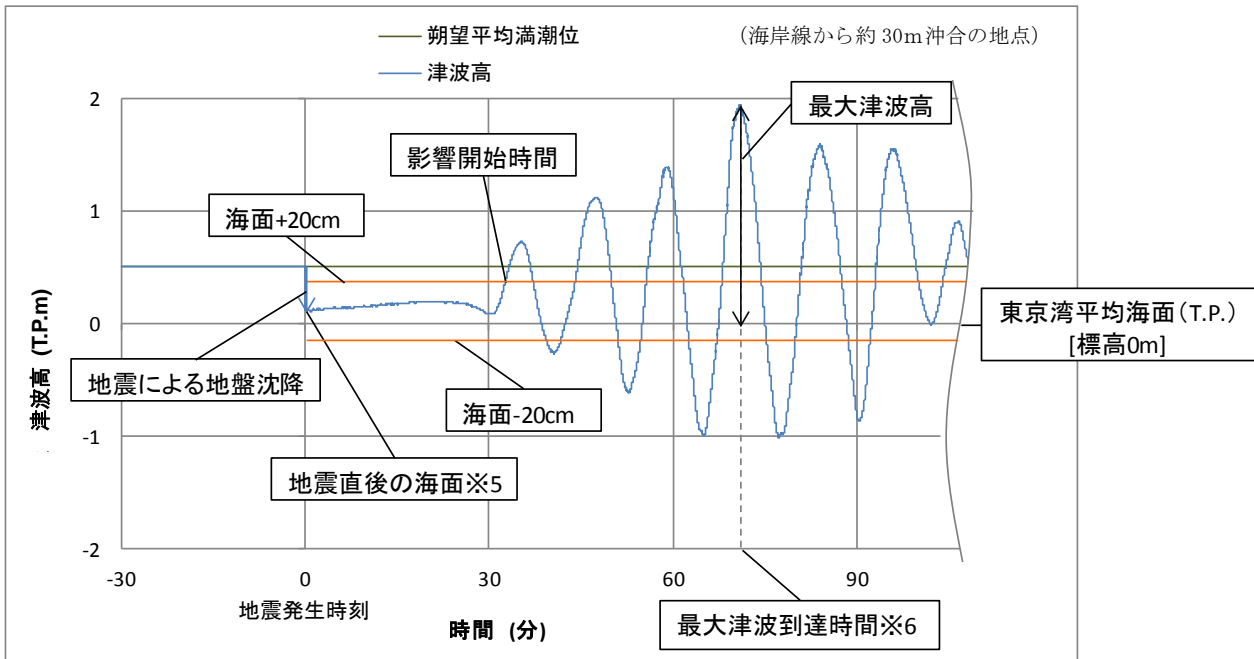
図一3 浸水深凡例



図一4 「津波の高さ」の定義【気象庁】

④影響開始時間について

海岸線から沖合約 30m 地点において、地震直後の海面に±20cm の海面（水位）変動が生じるまでの時間（図－5）。



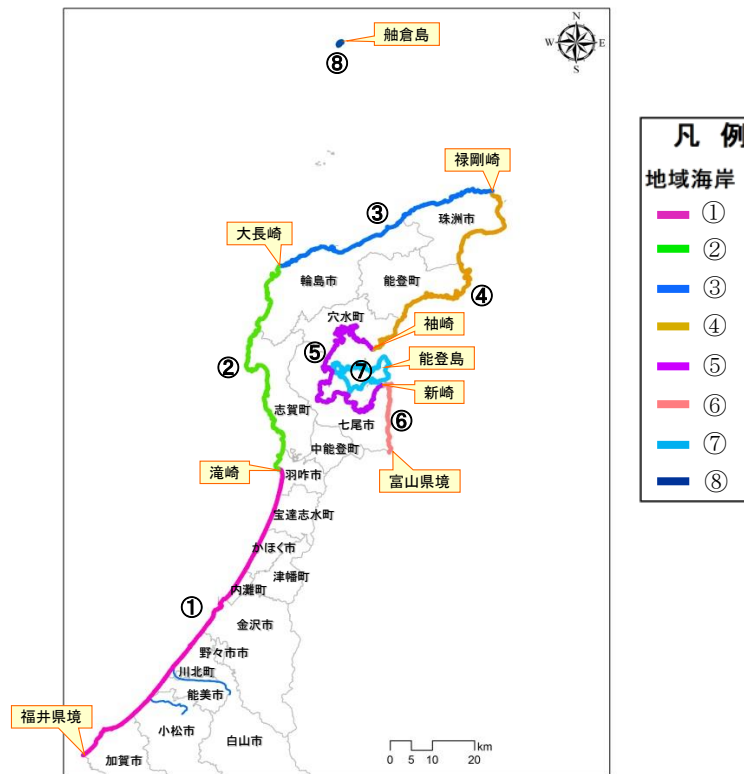
図－5 影響開始時間の模式図

- ※1 海岸線  
本浸水想定においては朔望平均満潮位時の海と陸との境界線を用いている。
- ※2 津波高  
海岸線から約 30m 沖合の地点における津波の海面を東京湾平均海面（T.P.）から測った高さ。
- ※3 東京湾平均海面（T.P.）  
東京湾における平均的な海面の高さで陸地の標高 0m の基準
- ※4 朔望平均満潮位  
朔（新月）または望（満月）の前 2 日、後 4 日以内に観測された最高満潮位の平均値。本浸水想定では朔望平均満潮位を地震発生時の潮位としている。
- ※5 地震直後の海面  
地震による地盤沈降等により高さが変わった後の海面
- ※6 最大津波到達時間  
海岸線から約 30m 沖合の地点における地震直後から最大津波高となるまでの時間

## 4 対象津波（最大クラス）の設定について

### （1）地域海岸の設定

石川県沿岸を湾の形状や山付けの「自然条件」などから判断し、次のとおり 8 地域海岸に区分しました。



地域海岸	区分
地域海岸①	加賀市（福井県境）～ 羽咋市 滝崎
地域海岸②	羽咋市 滝崎 ～ 輪島市 大長崎
地域海岸③	輪島市 大長崎 ～ 珠洲市 禄剛崎
地域海岸④	珠洲市 禄剛崎 ～ 穴水町 袖崎
地域海岸⑤	穴水町 袖崎 ～ 七尾市 新崎
地域海岸⑥	七尾市 新崎 ～ 七尾市（富山県境）
地域海岸⑦	七尾市 能登島
地域海岸⑧	輪島市 舳倉島

図－6 地域海岸の区分

### （2）過去に石川県沿岸に襲来した既往津波について

過去に石川県沿岸に襲来した既往津波については、東北大学および原子力規制庁（旧原子力安全基盤機構）によって整備された「津波痕跡データベース」から、津波高に係る信頼度の高い痕跡記録が確認できた「日本海中部地震」「北海道南西沖地震」「新潟地震」「能登半島地震」による津波を抽出・整理しました。

### （3）石川県沿岸に来襲する可能性のある想定津波について

既往津波及び「日本海における大規模地震に関する調査検討会」が公表した津波断層モデルによる津波について検討を行いました。なお、検討した断層の中に、H23 年度想定で対象とした断層の類似断層も含まれます。（日本海東縁部=F28・F37、能登半島東方沖=F41、能登半島北方沖=F43、石川県西方沖=F50・F51）

(4) 選定した最大クラスの津波について

石川県沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される津波断層モデルとして、「日本海における大規模地震に関する調査検討会」が公表した津波断層モデルから、地域海岸毎に最大の津波高となる以下の断層モデル・ケースを選定し計算しました(表-1)。

これら各ケースの地域海岸毎のシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域、最大となる浸水深を抽出しました。

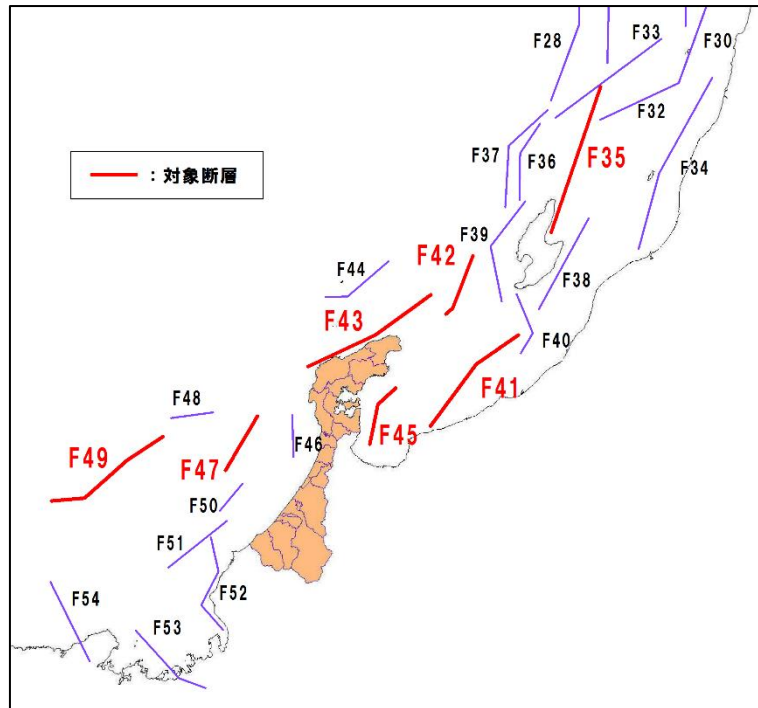


図-7 対象断層位置図

表-1 選定モデル・ケース一覧 (7断層・27ケース)

地域海岸	関係市町	F35			F41			F42			F43					F45			F47			F49					
		R	C	L	L	R	L	R	C	L	R	C	L	L	L	L	R	C	L	R	C	L	C	L	L	R	
1	加賀市、小松市、能美市、 白山市、金沢市、内灘町、 かほく市、宝達志水町、羽咋市									●	●	●			●	●						●	●	●	●	●	●
2	羽咋市、志賀町、輪島市	●	●	●	●	●		●	●						●	●	●	●	●								●
3	輪島市、珠洲市	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										
4	珠洲市、能登町、穴水町						●	●	●	●				●	●	●		●									
5	穴水町、七尾市、						●	●	●	●								●					●				
6	七尾市						●	●		●								●	●	●	●						
7	七尾市(能登島)						●	●	●	●													●				
8	輪島市(舳倉島)															●		●									

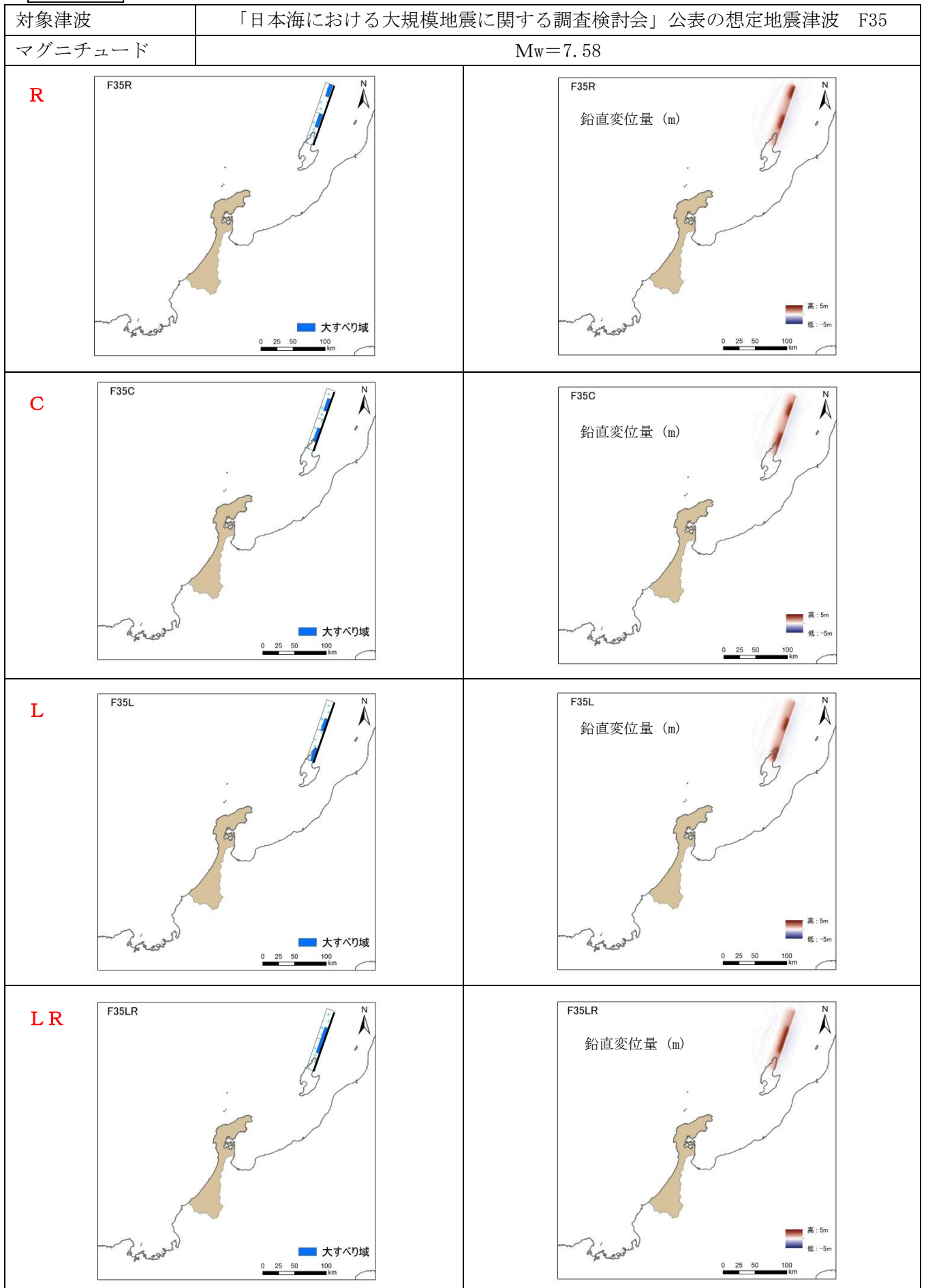
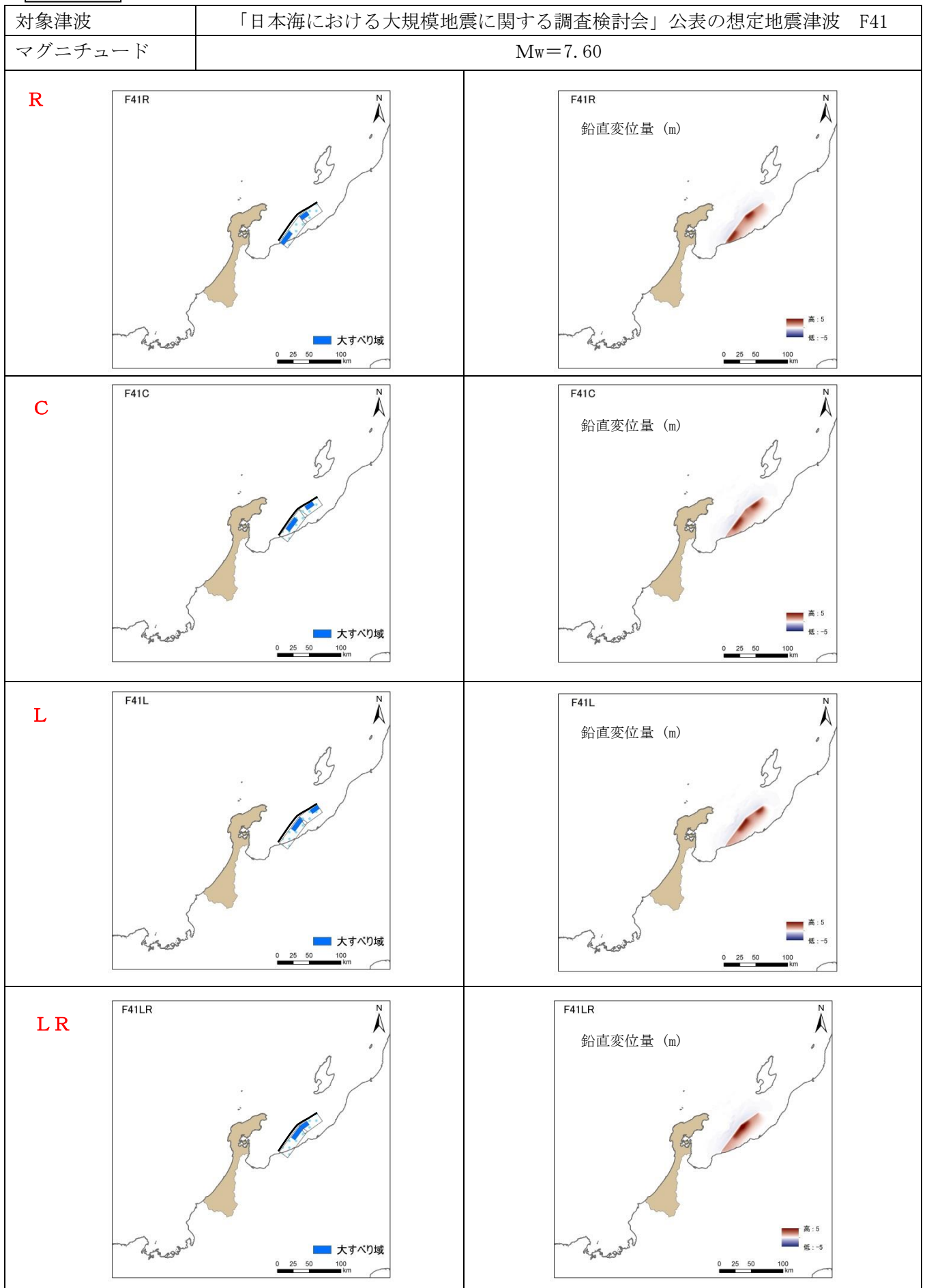


図-8 対象津波断層モデル図

**F 4 1**



図－8 対象津波断層モデル図



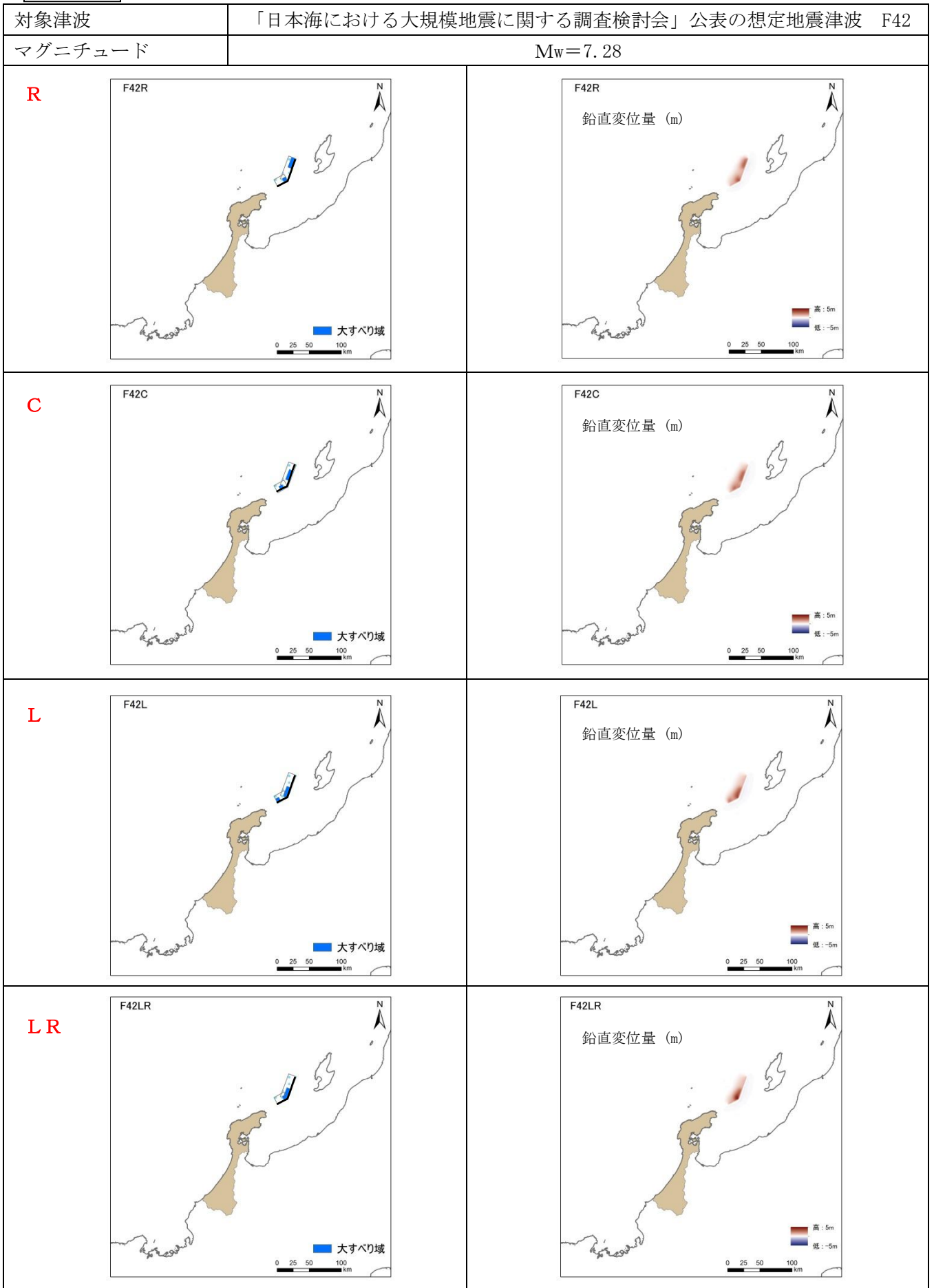
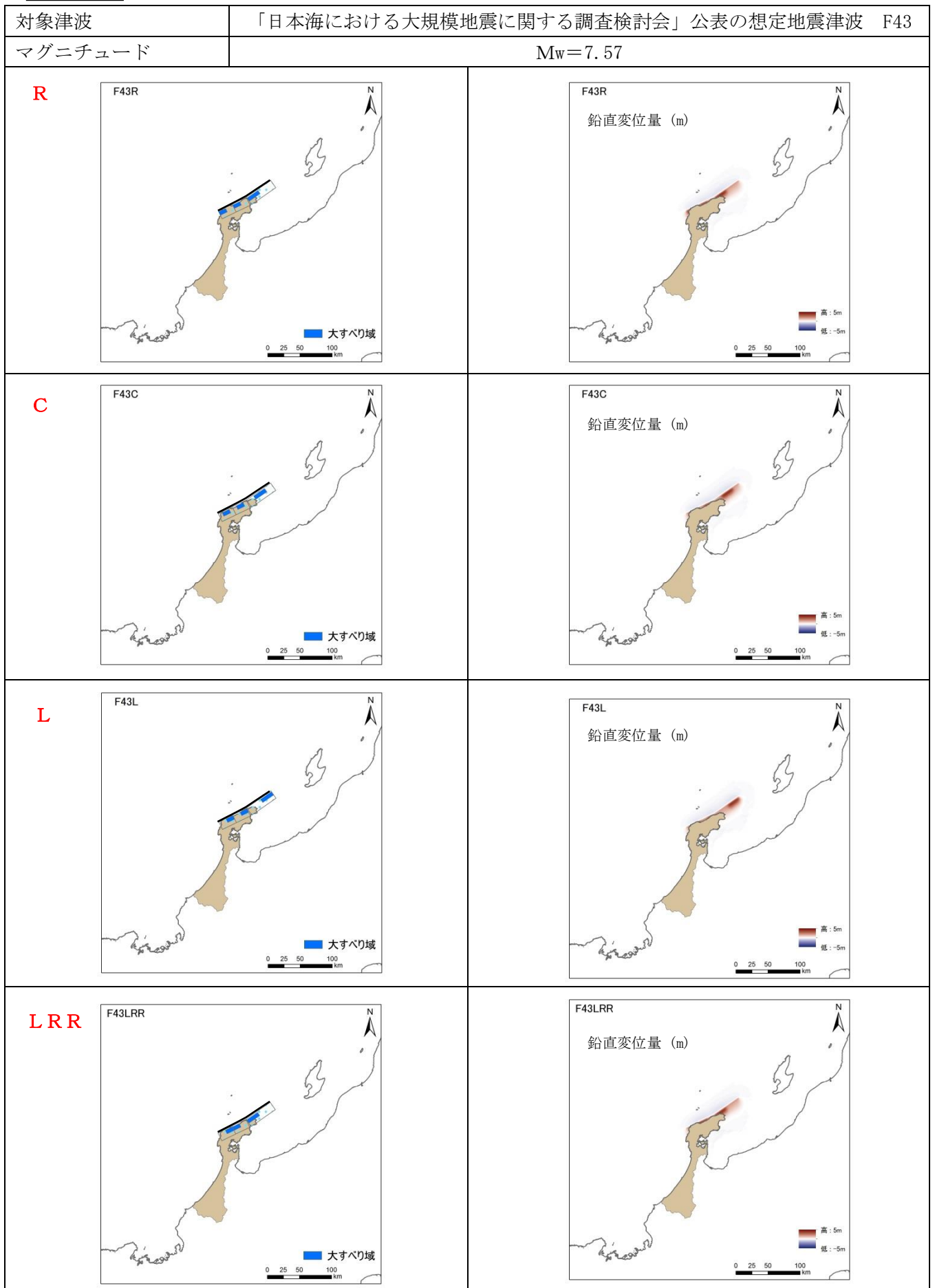
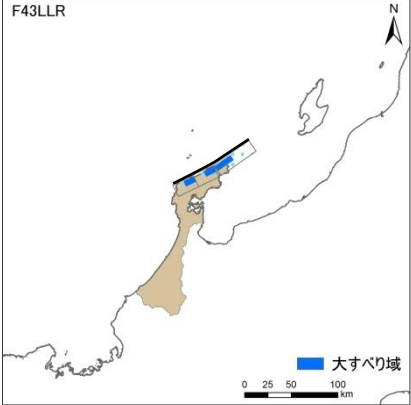
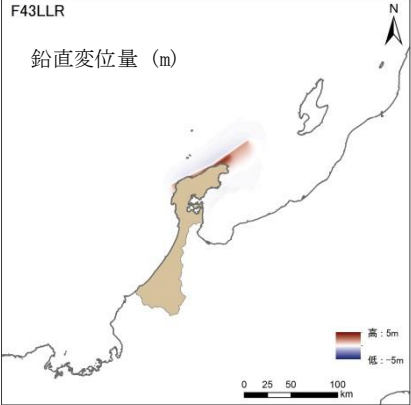


図-8 対象津波断層モデル図

**F 4 3**

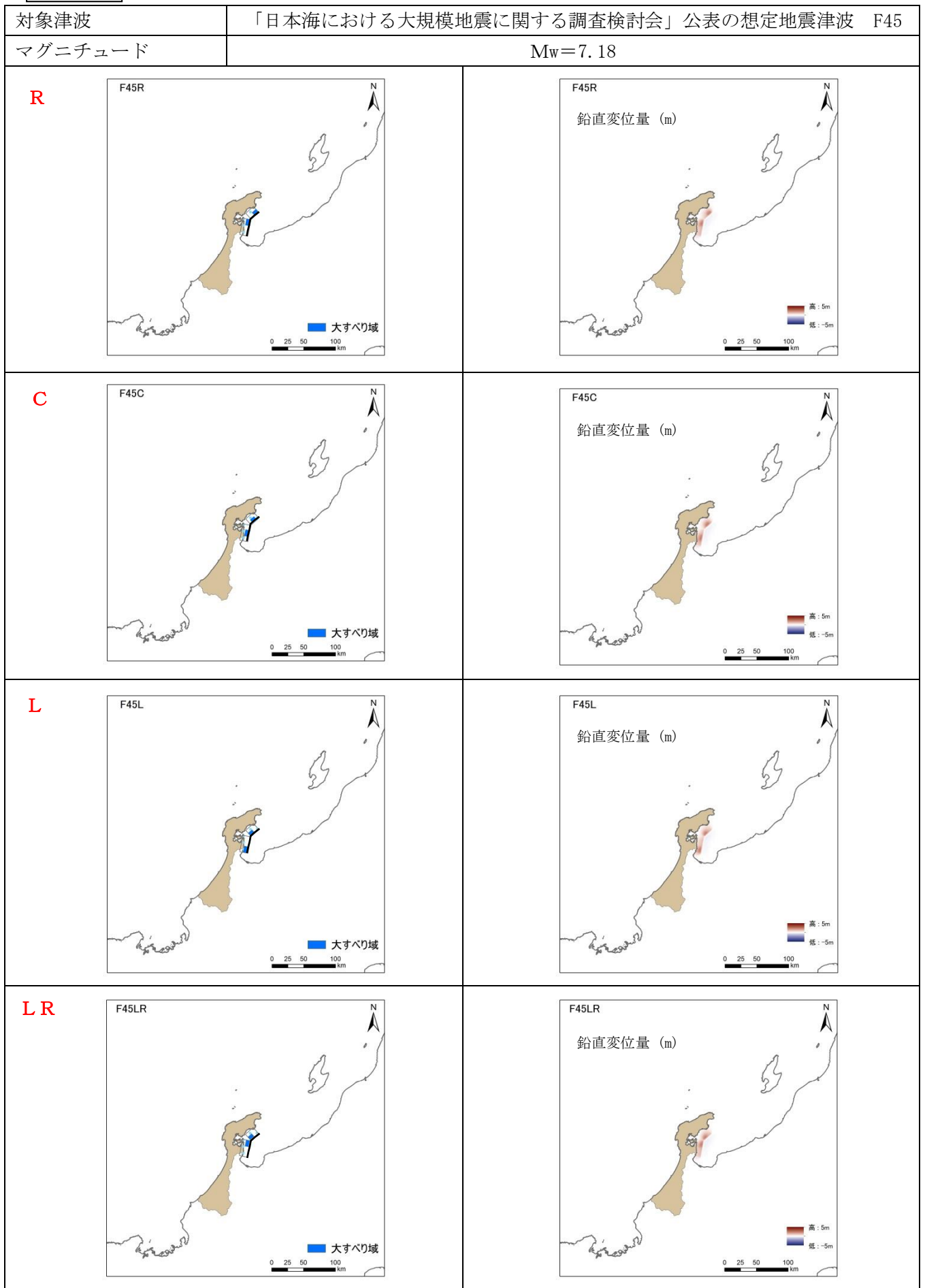


図ー8 対象津波断層モデル図

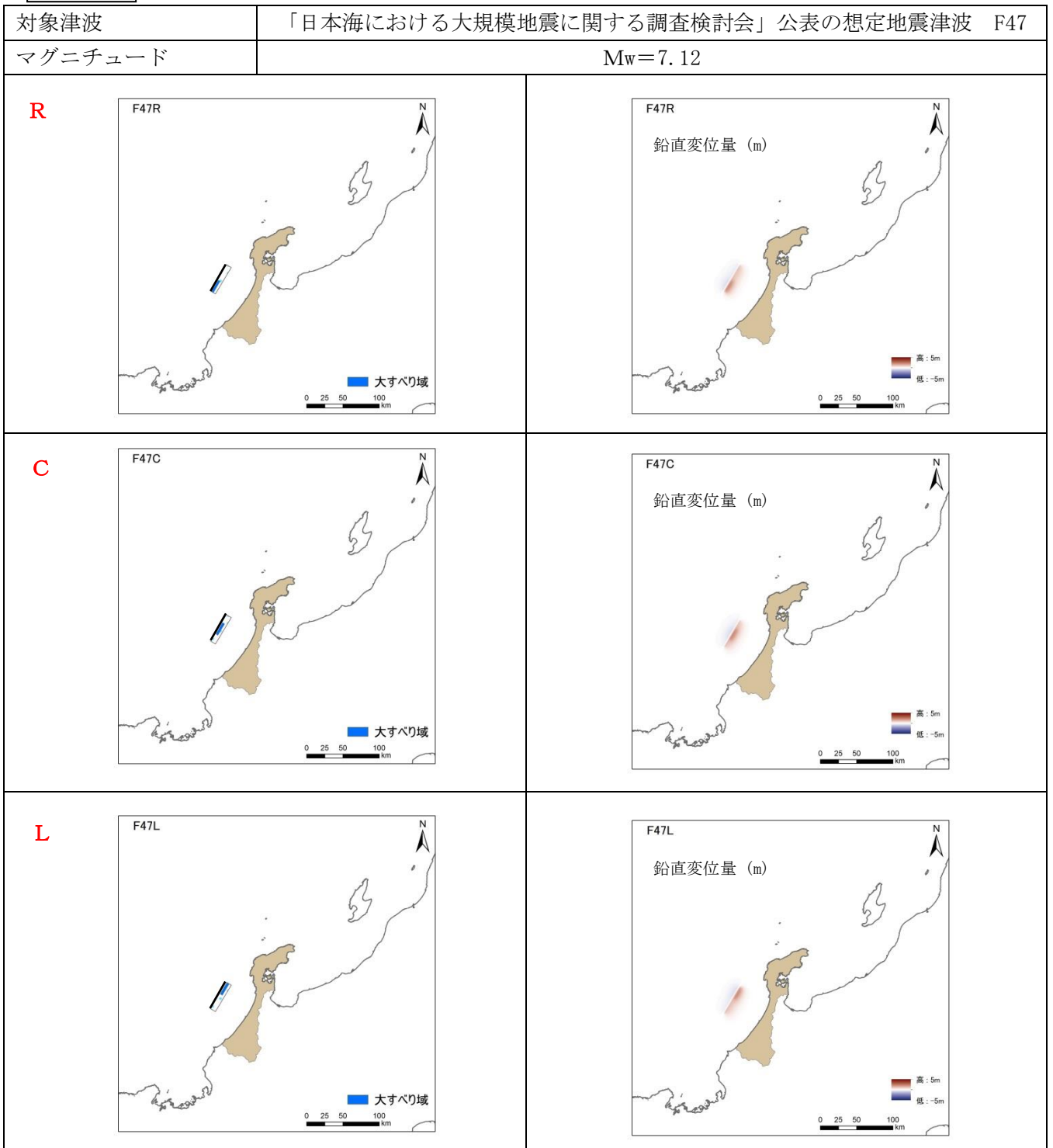
対象津波	「日本海における大規模地震に関する調査検討会」公表の想定地震津波 F43	
マグニチュード	Mw=7.57	
LLR		

図ー8 対象津波断層モデル図

**F 4 5**



図ー 8 対象津波断層モデル図



図ー8 対象津波断層モデル図

F49

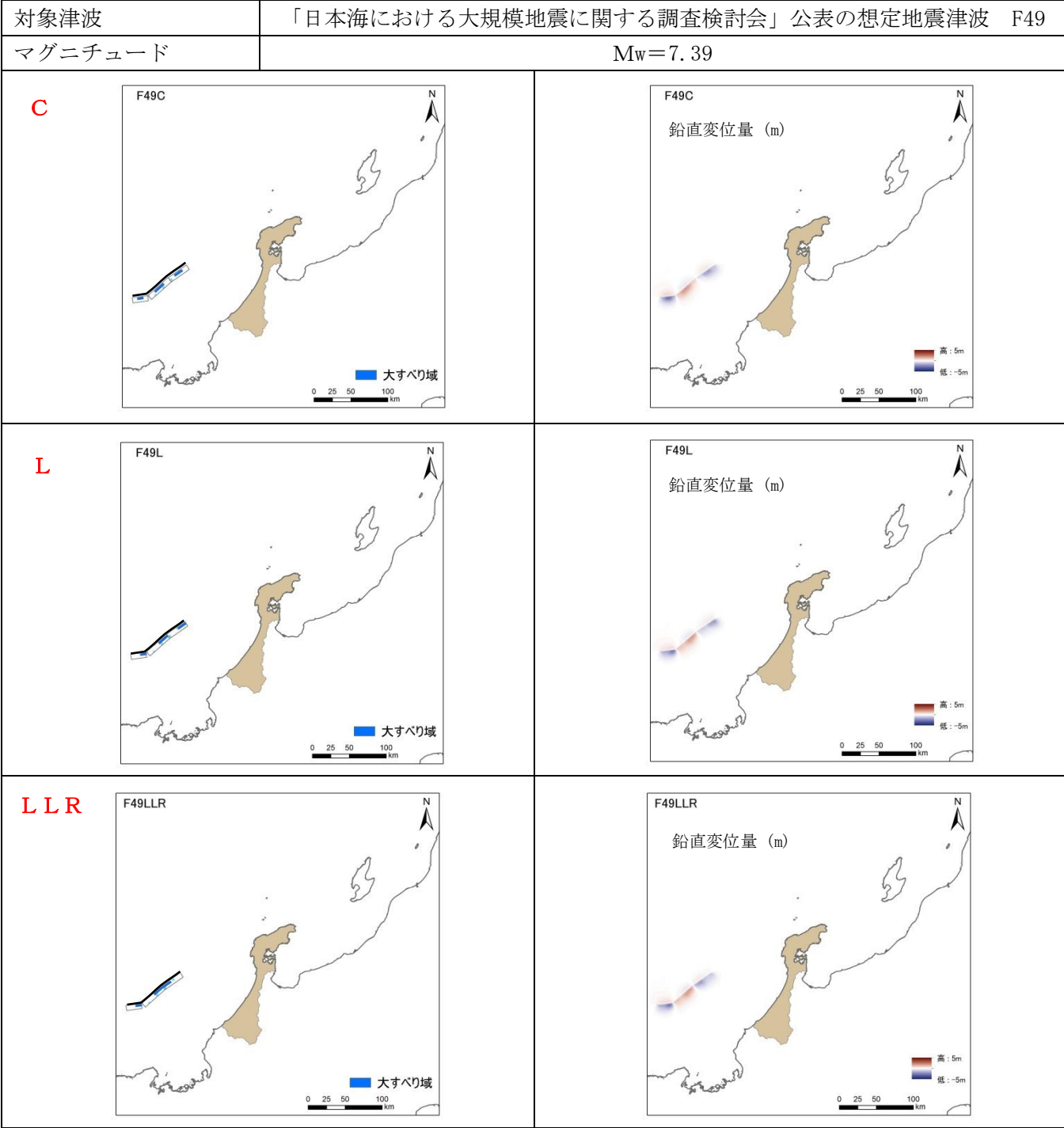


図-8 対象津波断層モデル図

## 5 主な計算条件の設定

計算条件を以下のとおり設定しました。

### (1) 潮位について

①海域については、各検潮所の朔望平均満潮位の統計値（年平均値を過去10年間で平均）を用い、地域海岸ごとに初期潮位を設定しました。なお、地域海岸3は、輪島(0.46m) < 能登(0.49m)により、能登検潮所の値を用いました。また、検潮所のない地域海岸は、隣接する地域海岸の潮位の平均値としました。

表-2 朔望平均満潮位（過去10年間）

検潮所	金沢港	輪島	能登	七尾港	伏木港
T.P.m	0.59	0.46	0.49	0.42	0.51

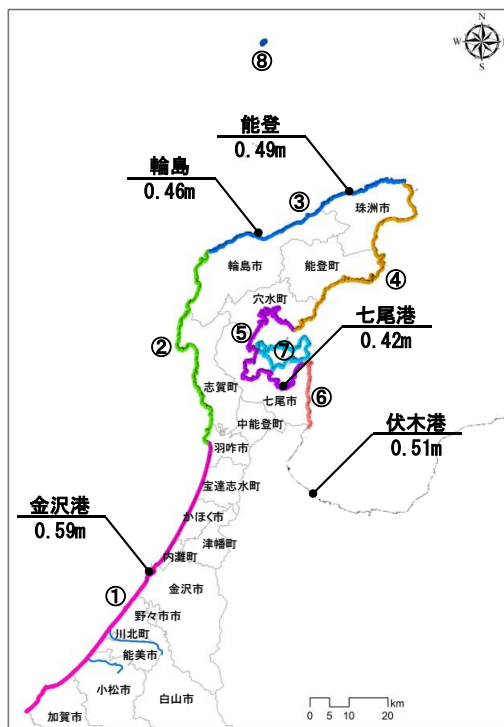


図-9 初期潮位の設定

表-3 初期潮位の設定

地域海岸	初期潮位 (T.P.m)	備考
①	0.59	金沢港
②	0.54	金沢港、能登の平均
③	0.49	能登
④	0.46	能登、七尾港の平均
⑤	0.42	七尾港
⑥	0.47	七尾港、伏木港の平均
⑦	0.42	七尾港
⑧	0.49	能登

②河川内の水位については、平水流量または、沿岸の朔望平均満潮位と同じ水位としました。

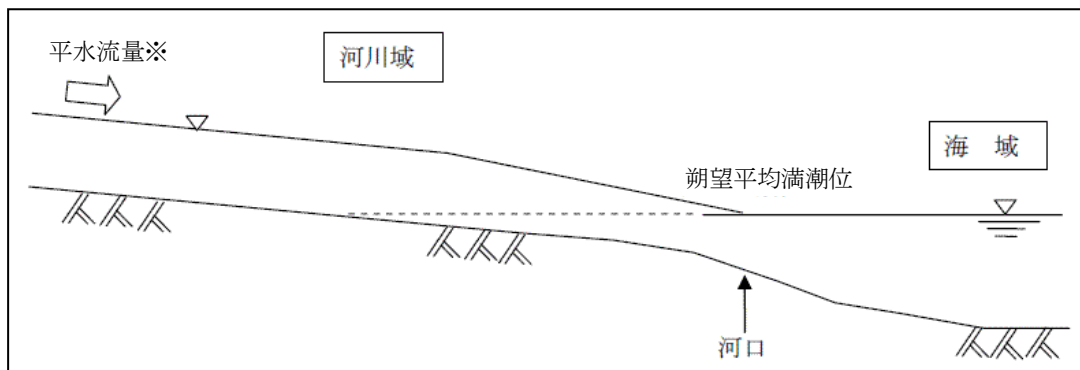


図-10 初期水位の設定

※平水流量

河川の日流量を1年通じて小さい方から大きい方へ整理したとき、1年を通じて185日はこれを下回らない流量

(2) 地震による地殻変動について

地震による地殻変動は、①海域は隆起・沈降を考慮し、②陸域は隆起を考慮せず沈降のみ考慮しました。

(3) 各種構造物の取扱について

①地震や津波による各種施設の被災を考慮しました。

②各種構造物については、津波が越流し始めた時点で「破壊する」ものとし、破壊後の形状は「無し」としています。

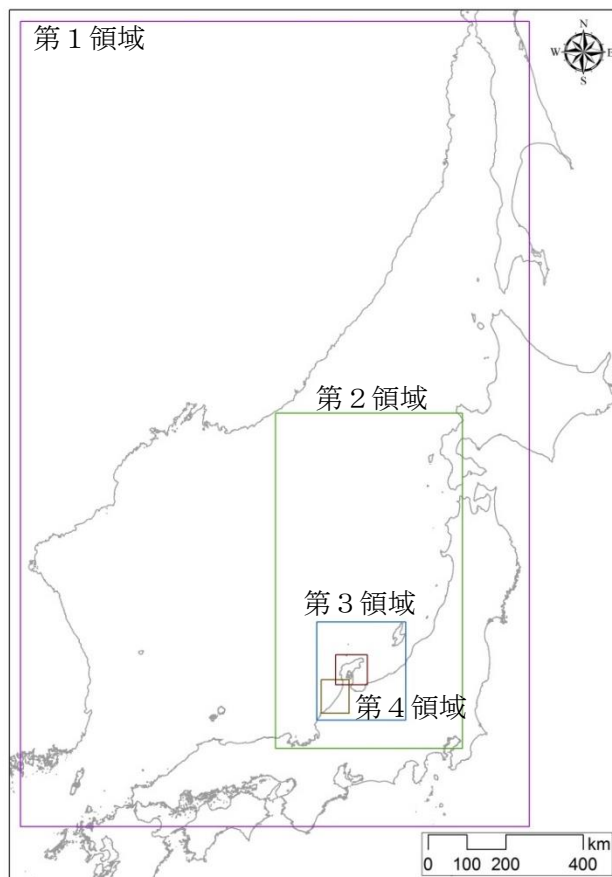
表－4 構造物条件

構造物の種類	条件
護岸	耐震や液状化に対する技術的評価結果が無ければ、構造物は地震及び液状化によりすべて破壊。技術的評価結果があるものはそれを反映。
堤防	耐震や液状化に対する技術的評価結果が無ければ、地震及び液状化により破壊され、堤防高を地震前の25%の高さとする。技術的評価結果があるものはそれを反映。
防波堤	耐震や液状化に対する技術的評価結果が無ければ、構造物は地震及び液状化によりすべて破壊。技術的評価結果があるものはそれを反映。
道路・鉄道	地形として取り扱う。
水門等	耐震自動降下対策済み、常時閉鎖の施設は閉条件。これ以外は開条件。
建築物	建物の代わりに津波が遡上する時の摩擦（粗度）を設定。

(4) 計算領域及び計算格子間隔

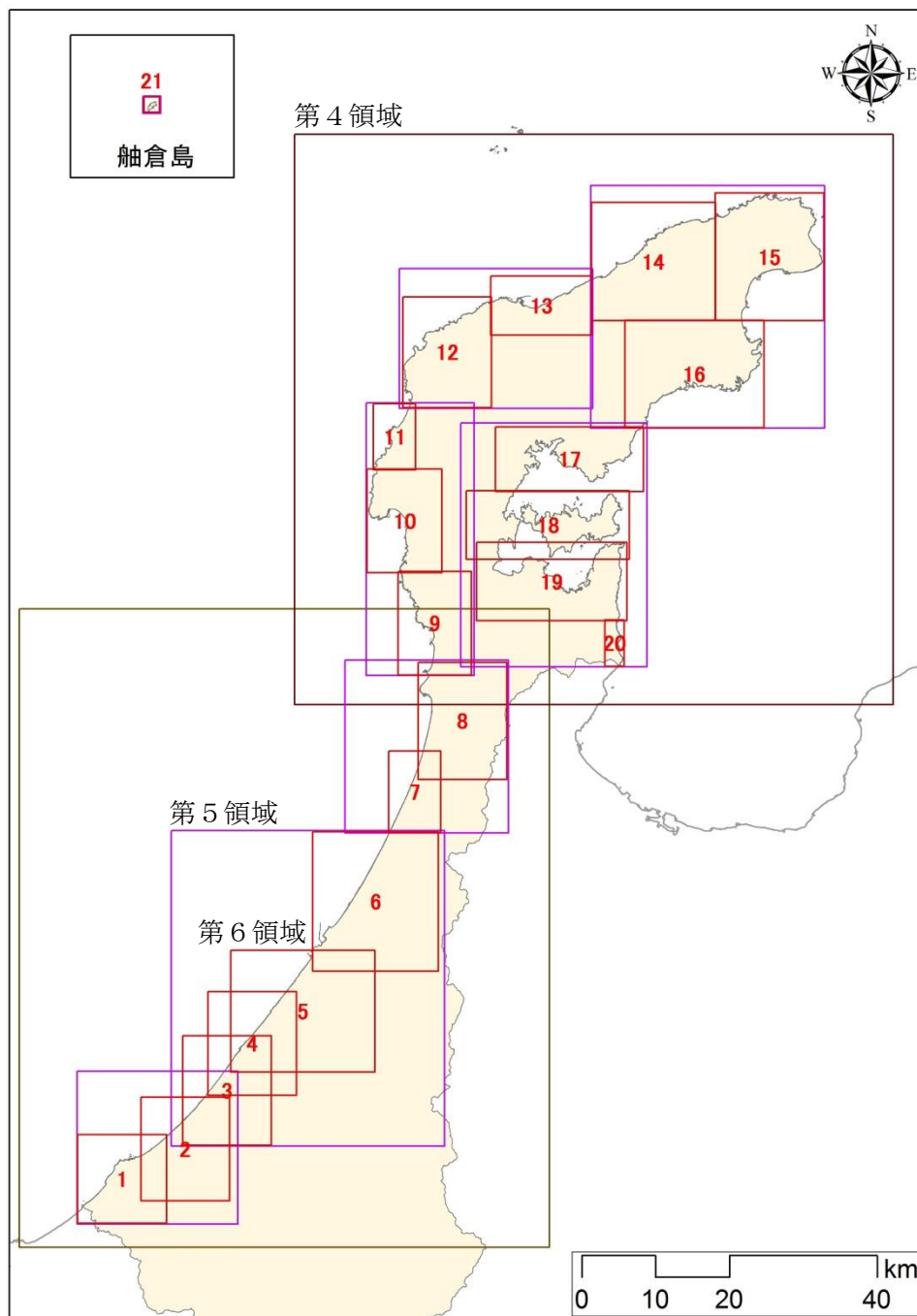
計算領域は、震源を含む範囲としました。

計算格子間隔は、計算領域全体から陸域に向かい2430m、810m、270m、90m、30m、10mとし、沿岸部の計算格子間隔は、10mとしました。



図－1.1 計算領域及び計算格子間隔 {第1領域 (2430m) ～第4領域(90m)}





図ー 1 2 計算領域及び計算格子間隔 {第4領域 (90m) ~第6領域 (10m) }

(5) 計算時間及び計算時間間隔

計算時間は、最大浸水範囲、最大浸水深が計算できるように 6 時間とし、計算時間間隔は、計算が安定するように 0.1 秒間隔としました。

(6) 陸域及び海域地形

①陸域地形

- ・ 国土地理院、国土交通省が実施した航空レーザー測量結果および各市町の 1/2500 地形図を用いて作成しました。
- ・ 国及び県管理河川は河川横断測量結果を用いて作成しました。

②海域地形

- ・ 海域地形は、一般財団法人日本水路協会が作成した海底地形デジタルデータ (M7000 シリーズ)、海図を用いました。

## 6 浸水面積および最大津波高、影響開始時間について

今回の津波浸水想定による沿岸および潟湖周辺の 17 市町の浸水面積および海岸線を持つ市町の最大津波高、影響開始時間は下記のとおりです。

表－5 市町毎の浸水面積

市町名	浸水面積 (km <sup>2</sup> )		
	住居地域	非住居地域	計
加賀市	0.01	2.02	2.02
小松市	0.01	3.56	3.57
能美市	－	0.21	0.21
白山市	－	0.48	0.48
金沢市	0.34	2.53	2.88
内灘町	0.04	1.95	1.99
津幡町	－	0.59	0.59
かほく市	－	1.92	1.92
宝達志水町	－	0.39	0.39
羽咋市	0.07	3.46	3.54
中能登町	－	0.16	0.16
志賀町	0.32	1.57	1.89
輪島市	0.51	1.82	2.33
珠洲市	4.22	7.00	11.22
能登町	1.67	1.76	3.43
穴水町	0.70	1.38	2.08
七尾市	1.92	6.82	8.75
計	9.81	37.63	47.45

注) 浸水面積は、河川等部分を除いた陸域部の浸水深 1 cm 以上。  
住居地域・非住居地域は、国勢調査メッシュ統計により算定。  
端数処理により、合計が合わない場合がある。

表一 6 (1) 代表地点毎の最大津波高と影響開始時間

市町	代表地点名	最大津波高				影響開始時間(最短)	
		断層	影響開始時間(分)	津波高(T.P. m)	到達時間(分)	断層	時間(分)
加賀市	塩屋	F49	27	4.2	63	F47	20
	橋立	F49	27	4.9	30	F47	19
	新堀川河口	F42	101	3.5	112	F47	21
小松市	小松海岸	F49	30	3.4	33	F47	20
	安宅	F49	31	3.2	35	F47	20
能美市	根上海岸	F49	31	3.6	34	F47	20
白山市	手取川河口	F49	30	3.6	34	F47	19
	松任海岸1	F47	19	3.0	23	F47	19
	松任海岸2	F42	99	3.4	111	F47	19
金沢市	金石	F47	20	3.6	24	F47	20
	金沢港	F47	20	3.2	24	F47	20
内灘町	千鳥台	F47	21	3.6	25	F47	21
	白帆台	F47	21	3.8	25	F47	21
かほく市	白尾	F47	21	3.8	25	F47	21
	七塚	F47	22	3.7	25	F47	22
	高松	F47	22	3.7	26	F47	22
宝達志水町	米出	F47	23	3.6	26	F47	23
	今浜	F47	24	3.3	27	F47	24
羽咋市	千里浜	F47	24	3.1	27	F47	24
	滝港	F43	33	3.8	114	F47	21
	柴垣	F41	84	4.6	119	F47	23
志賀町	大島	F43	32	4.3	104	F47	23
	高浜	F43	32	4.5	104	F47	23
	安部屋	F41	79	5.3	107	F47	18
	百浦	F43	27	6.3	100	F47	19
	福浦	F43	22	5.9	95	F47	18
	領家	F43	22	5.0	100	F47	19
	西海	F43	18	4.5	102	F47	15
	赤崎	F43	14	6.0	74	F43	12
	笹波	F43	11	5.0	89	F43	9
輪島市	劔地	F35	61	5.5	80	F43	5
	鹿磯	F41	55	4.8	71	F43	1分未満
	門前深見	F41	55	6.1	71	F43	1分未満
	吉浦	F43	1分未満	5.0	1分未満	F43	1分未満
	皆月	F35	55	5.4	77	F43	1分未満
	大沢	F35	52	6.2	77	F43	1分未満
	鵜入	F35	56	7.5	77	F43	1分未満
	光浦	F41	42	8.8	59	F43	1分未満
	輪島	F42	37	6.3	56	F43	1分未満
	舳倉島	F43	21	9.4	26	F43	21
	惣領	F43	1分未満	5.0	1分未満	F43	1分未満
	深見	F42	32	8.0	46	F43	1分未満
	名舟	F35	51	5.9	81	F43	1分未満
菅々木	F35	48	6.7	81	F43	1分未満	

注) この津波浸水想定は、現在の知見を基に津波の浸水予測を行ったものであり、想定よりも大きな津波が来襲し、津波の水位が大きくなる可能性があります。

各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュで、最大の津波高と最短の影響開始時間を取得しており、最大の津波高の地点と、最短の影響開始時間の地点が異なる場合があります。

「津波高」は、海岸線から沖合約 30m 地点における津波の水位を標高『東京湾平均海面からの高さ(単位:T.P+m)』で表示しています。

「到達時間(分)」および「時間(分)」について、分未満は切り捨てとしています。

表－6(2) 代表地点毎の最大津波高と影響開始時間

市町	代表地点名	最大津波高				影響開始時間(最短)	
		断層	影響開始時間(分)	津波高(T.P. m)	到達時間(分)	断層	時間(分)
珠洲市	真浦	F35	45	8.2	81	F43	1分未満
	長橋	F35	43	6.3	81	F43	1分未満
	馬縹	F35	41	6.0	82	F43	1分未満
	高屋	F43	1分未満	5.9	1	F43	1分未満
	折戸	F41	15	7.6	20	F43	1分未満
	狼煙	F41	13	12.1	18	F43	1分未満
	寺家	F41	13	15.2	16	F43	5
	小泊	F41	10	20.0	15	F43	1
	蛸島	F41	11	8.9	17	F43	2
	能登飯田	F41	15	8.5	21	F43	2
能登町	鵜飼	F41	15	6.4	23	F43	3
	松波	F41	7	6.7	26	F43	5
	小木	F41	5	9.6	10	F45	2
	高倉	F41	6	7.0	11	F45	2
	宇出津	F41	7	6.7	12	F45	2
	矢波	F41	8	8.6	14	F45	3
穴水町	鵜川	F41	8	8.5	14	F45	3
	古君	F41	10	8.7	15	F45	3
	甲	F41	13	5.5	17	F45	6
	鹿波	F41	22	2.3	51	F45	12
	穴水	F41	31	2.6	107	F45	19
七尾市	志ヶ浦	F41	28	1.7	51	F45	19
	深浦	F41	31	3.6	57	F45	22
	長浦	F41	32	2.2	58	F45	21
	通	F41	33	1.9	61	F45	21
	閨	F41	27	2.7	52	F45	19
	南	F41	24	1.9	48	F45	14
	曲	F41	19	3.3	43	F45	11
	向田	F41	19	3.6	44	F45	12
	祖母ヶ浦	F41	13	2.8	16	F45	5
	緩目	F41	11	5.4	15	F45	4
	野崎	F41	7	3.9	14	F45	2
	佐波	F41	26	2.1	135	F45	15
	半浦	F41	27	1.8	107	F45	16
	中島	F41	37	1.2	60	F45	27
	笠師保	F41	50	1.2	58	F45	38
	田鶴浜	F41	49	1.0	57	F45	37
	和倉	F41	31	3.0	144	F45	10
	七尾港	F41	31	2.5	125	F45	10
	三室	F41	14	3.5	17	F45	6
	鵜浦	F41	7	7.6	13	F45	3
江泊	F41	8	4.4	14	F45	2	
百海	F41	8	3.9	12	F45	1	
下佐々波	F45	1	7.8	8	F45	1	

注) この津波浸水想定は、現在の知見を基に津波の浸水予測を行ったものであり、想定よりも大きな津波が来襲し、津波の水位が大きくなる可能性があります。

各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュで、最大の津波高と最短の影響開始時間を取得しており、最大の津波高の地点と、最短の影響開始時間の地点が異なる場合があります。

「津波高」は、海岸線から沖合約 30m 地点における津波の水位を標高『東京湾平均海面からの高さ(単位:T.P+m)』で表示しています。

「到達時間(分)」および「時間(分)」について、分未満は切り捨てとしています。

## 7 今後について

今回の津波浸水想定を基に沿岸市町では、津波ハザードマップの策定や住民の避難方法の検討、市町の防災計画の改定などに取り組むこととなるため、市町に対する技術的な助言や支援を行っていきます。

また、「津波防災地域づくりに関する法律」に関しては、津波防災地域づくりを総合的に推進するため、市町による「推進計画」の作成や、県による津波災害警戒区域の指定などについても、今後、関係部局や市町との連絡・協議体制を強化していきます。

なお、今回設定した最大クラスの津波については、津波断層モデルの新たな知見（内閣府・中央防災会議、文部科学省、隣接県等）がまとまってきた場合や構造物の整備・強化がある程度進んできた場合等には、必要に応じて見直しを検討していきます。

## 【参考資料】

## 1. 各市町の代表地点における影響開始時間および最大津波高、最大津波到達時間

市町	代表地点名		津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
			断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
加賀市	1	塩屋	F49	27	4.2	63	F47	20	1.3	156
	2	橋立	F49	27	4.9	30	F47	19	1.5	22
	3	新堀川河口	F42	101	3.5	112	F47	21	1.7	23
小松市	1	小松海岸	F49	30	3.4	33	F47	20	1.8	23
	2	安宅	F49	31	3.2	35	F47	20	2.1	24
能美市	1	根上海岸	F49	31	3.6	34	F47	20	2.2	23
白山市	1	手取川河口	F49	30	3.6	34	F47	19	2.4	23
	2	松任海岸1	F47	19	3.0	23	F47	19	3.0	23
	3	松任海岸2	F42	99	3.4	111	F47	19	3.1	23
金沢市	1	金石	F47	20	3.6	24	F47	20	3.3	24
	2	金沢港	F47	20	3.2	24	F47	20	3.2	24
内灘町	1	千鳥台	F47	21	3.6	25	F47	21	3.6	25
	2	白帆台	F47	21	3.8	25	F47	21	3.6	26
かほく市	1	白尾	F47	21	3.8	25	F47	21	3.6	26
	2	七塚	F47	22	3.7	25	F47	22	3.6	26
	3	高松	F47	22	3.7	26	F47	22	3.7	26
宝達志水町	1	米出	F47	23	3.6	26	F47	23	3.6	26
	2	今浜	F47	24	3.3	27	F47	24	3.3	27
羽咋市	1	千里浜	F47	24	3.1	27	F47	24	3.1	27
	2	瀧港	F43	33	3.8	114	F47	21	2.4	24
	3	柴垣	F41	84	4.6	119	F47	23	2.4	25
志賀町	1	大島	F43	32	4.3	104	F47	23	2.4	25
	2	高浜	F43	32	4.5	104	F47	23	2.3	25
	3	安部屋	F41	79	5.3	107	F47	18	1.9	21
	4	百浦	F43	27	6.3	100	F47	19	2.2	22
	5	福浦	F43	22	5.9	95	F47	18	1.9	20
	6	領家	F43	22	5.0	100	F47	19	1.8	211
	7	西海	F43	18	4.5	102	F47	15	1.7	74
	8	赤崎	F43	14	6.0	74	F43	12	4.2	89
	9	笹波	F43	11	5.0	89	F43	9	4.4	89
輪島市	1	剣地	F35	61	5.5	80	F43	5	2.3	92
	2	鹿磯	F41	55	4.8	71	F43	1分未満	2.6	63
	3	門前深見	F41	55	6.1	71	F43	1分未満	3.9	1
	4	吉浦	F43	1分未満	5.0	1分未満	F43	1分未満	2.8	1分未満
	5	皆月	F35	55	5.4	77	F43	1分未満	3.4	1
	6	大沢	F35	52	6.2	77	F43	1分未満	3.5	57
	7	鶴入	F35	56	7.5	77	F43	1分未満	4.3	57
	8	光浦	F41	42	8.8	59	F43	1分未満	2.2	67
	9	輪島	F42	37	6.3	56	F43	1分未満	3.1	27
	10	舳倉島	F43	21	9.4	26	F43	21	8.9	26
	11	惣領	F43	1分未満	5.0	1分未満	F43	1分未満	5.0	1分未満
	12	深見	F42	32	8.0	46	F43	1分未満	4.6	1
	13	名舟	F35	51	5.9	81	F43	1分未満	2.6	1
	14	曾々木	F35	48	6.7	81	F43	1分未満	4.4	1

市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
珠洲市	1 真浦	F35	45	8.2	81	F43	1分未満	3.3	1
	2 長橋	F35	43	6.3	81	F43	1分未満	3.1	1分未満
	3 馬繰	F35	41	6.0	82	F43	1分未満	3.6	1
	4 高屋	F43	1分未満	5.9	1	F43	1分未満	5.9	1
	5 折戸	F41	15	7.6	20	F43	1分未満	5.3	3
	6 狼煙	F41	13	12.1	18	F43	1分未満	4.7	3
	7 寺家	F41	13	15.2	16	F43	5	3.4	27
	8 小泊	F41	10	20.0	15	F43	1	2.0	42
	9 蛸島	F41	11	8.9	17	F43	2	1.8	44
	10 能登飯田	F41	15	8.5	21	F43	2	2.2	39
	11 鵜飼	F41	15	6.4	23	F43	3	4.8	36
能登町	1 松波	F41	7	6.7	26	F43	5	2.6	27
	2 小木	F41	5	9.6	10	F45	2	4.9	7
	3 高倉	F41	6	7.0	11	F45	2	3.2	8
	4 宇出津	F41	7	6.7	12	F45	2	4.1	9
	5 矢波	F41	8	8.6	14	F45	3	3.5	7
	6 鵜川	F41	8	8.5	14	F45	3	3.5	7
穴水町	1 古君	F41	10	8.7	15	F45	3	4.2	18
	2 甲	F41	13	5.5	17	F45	6	2.9	9
	3 鹿波	F41	22	2.3	51	F45	12	2.0	32
	4 穴水	F41	31	2.6	107	F45	19	1.7	44
	5 志ヶ浦	F41	28	1.7	51	F45	19	1.3	40
七尾市	1 深浦	F41	31	3.6	57	F45	22	2.7	45
	2 長浦	F41	32	2.2	58	F45	21	1.7	44
	3 通	F41	33	1.9	61	F45	21	1.6	45
	4 閨	F41	27	2.7	52	F45	19	1.9	41
	5 南	F41	24	1.9	48	F45	14	1.3	37
	6 曲	F41	19	3.3	43	F45	11	2.3	33
	7 向田	F41	19	3.6	44	F45	12	2.2	32
	8 祖母ヶ浦	F41	13	2.8	16	F45	5	2.4	8
	9 鰻目	F41	11	5.4	15	F45	4	3.4	7
	10 野崎	F41	7	3.9	14	F45	2	2.6	21
	11 佐波	F41	26	2.1	135	F45	15	1.6	61
	12 半浦	F41	27	1.8	107	F45	16	1.3	62
	13 中島	F41	37	1.2	60	F45	27	1.0	47
	14 笠師保	F41	50	1.2	58	F45	38	1.0	67
	15 田鶴浜	F41	49	1.0	57	F45	37	0.7	46
	16 和倉	F41	31	3.0	144	F45	10	2.4	84
	17 七尾港	F41	31	2.5	125	F45	10	1.4	83
	18 三室	F41	14	3.5	17	F45	6	2.6	50
	19 鵜浦	F41	7	7.6	13	F45	3	3.6	9
	20 江泊	F41	8	4.4	14	F45	2	3.5	5
	21 百海	F41	8	3.9	12	F45	1	3.7	4
	22 下佐々波	F45	1	7.8	8	F45	1	7.8	8

## 2. 各市町の代表地点における津波の状況

### (1) 加賀市

#### ①津波高等



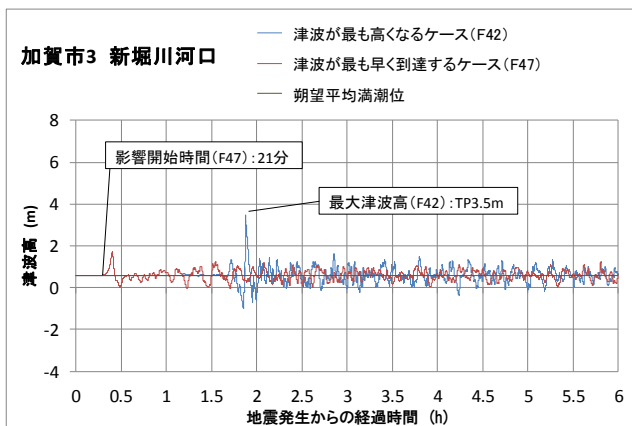
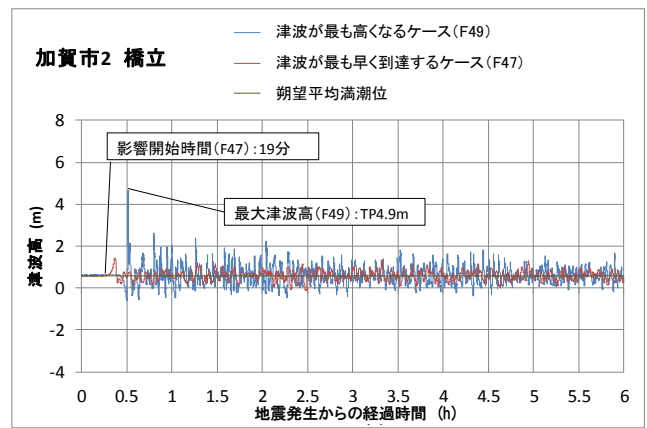
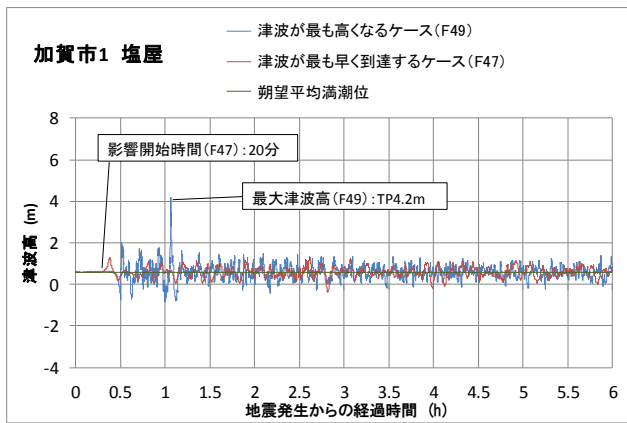
市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
加賀市	1 塩屋	F49	27	4.2	63	F47	20	1.3	156
	2 橋立	F49	27	4.9	30	F47	19	1.5	22
	3 新堀川河口	F42	101	3.5	112	F47	21	1.7	23

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。



②津波高の時間変化



(2) 小松市

①津波高等

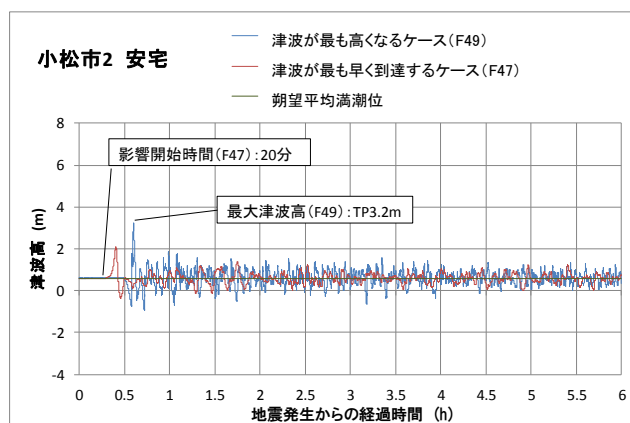
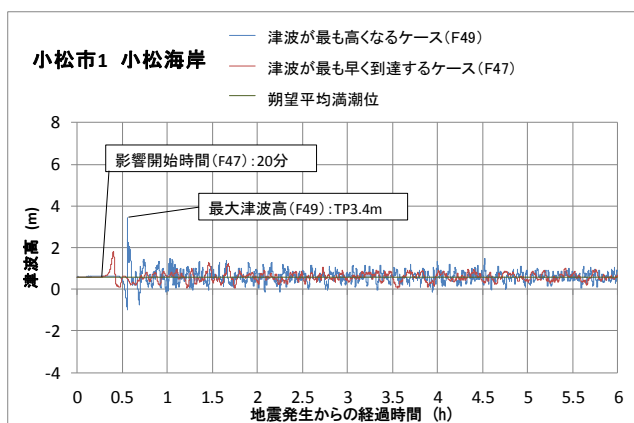


市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース			津波が最も早く到達するケース				
		断層	影響開始時間(分)	最大津波高(T.P. m)	最大津波到達時間(分)	断層	影響開始時間(分)	最大津波到達時間(分)	
小松市	1 小松海岸	F49	30	3.4	33	F47	20	1.8	23
	2 安宅	F49	31	3.2	35	F47	20	2.1	24

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

②津波高の時間変化



## (3) 能美市

## ①津波高等

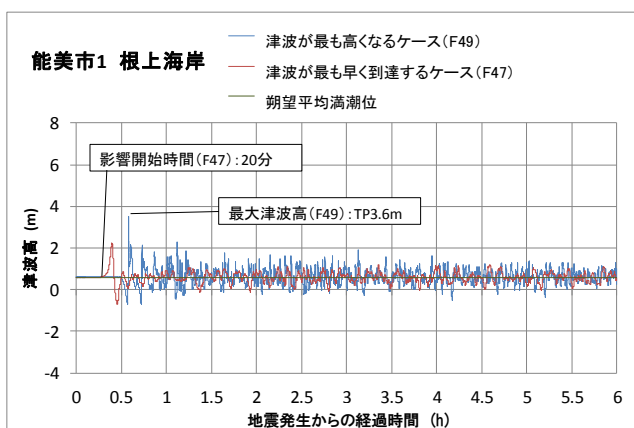


市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間(分)	最大津波高(T.P. m)	最大津波到達時間(分)	断層	影響開始時間(分)	最大津波高(T.P. m)	最大津波到達時間(分)
能美市	1 根上海岸	F49	31	3.6	34	F47	20	2.2	23

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

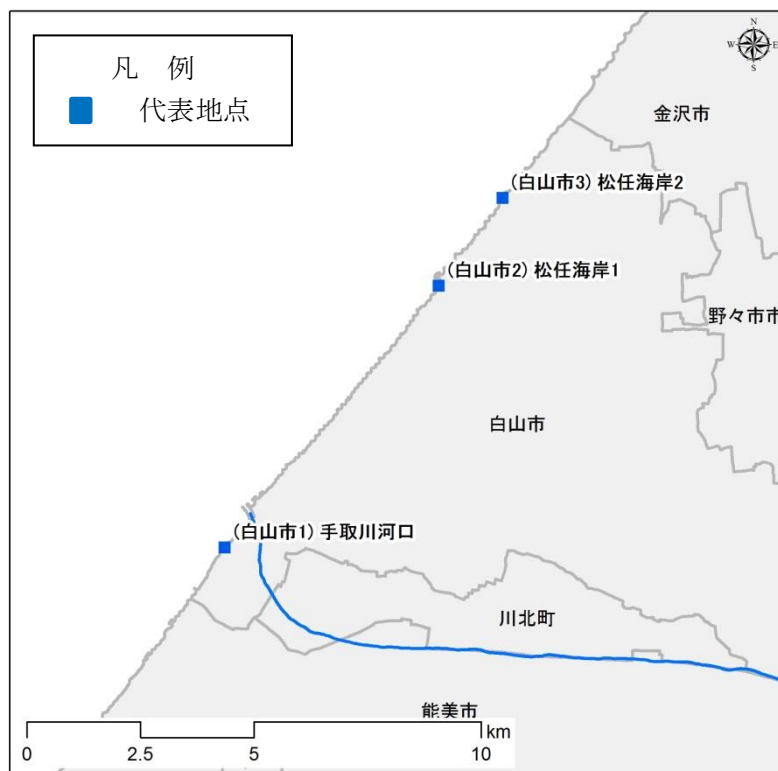
「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

## ②津波高の時間変化



## (4) 白山市

## ①津波高等

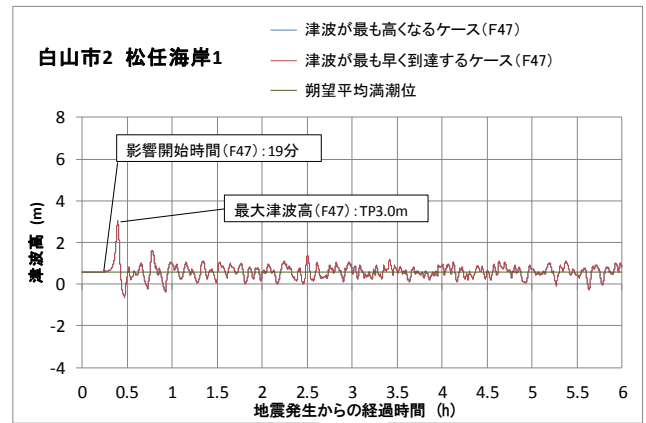
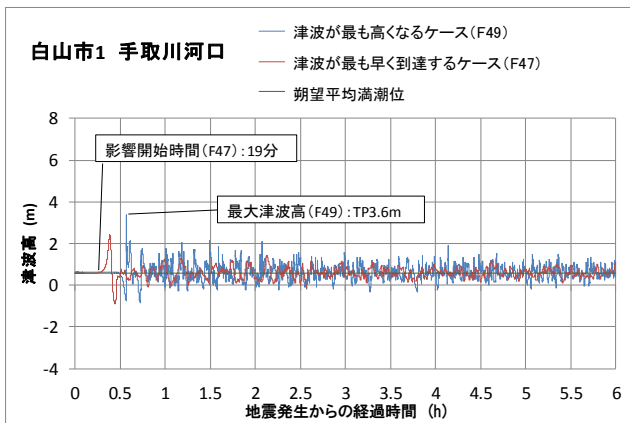


市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
白山市	1 手取川河口	F49	30	3.6	34	F47	19	2.4	23
	2 松任海岸1	F47	19	3.0	23	F47	19	3.0	23
	3 松任海岸2	F42	99	3.4	111	F47	19	3.1	23

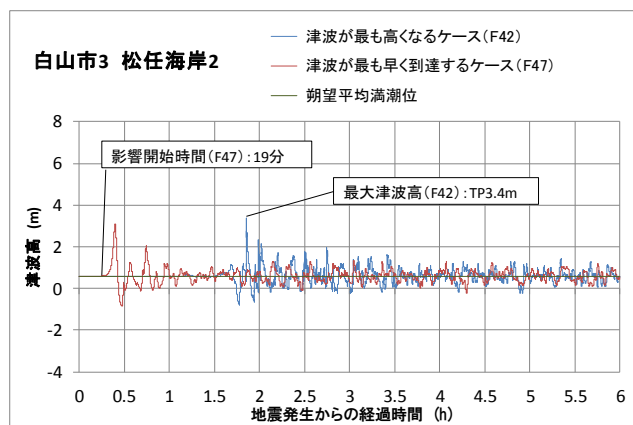
注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

②津波高の時間変化

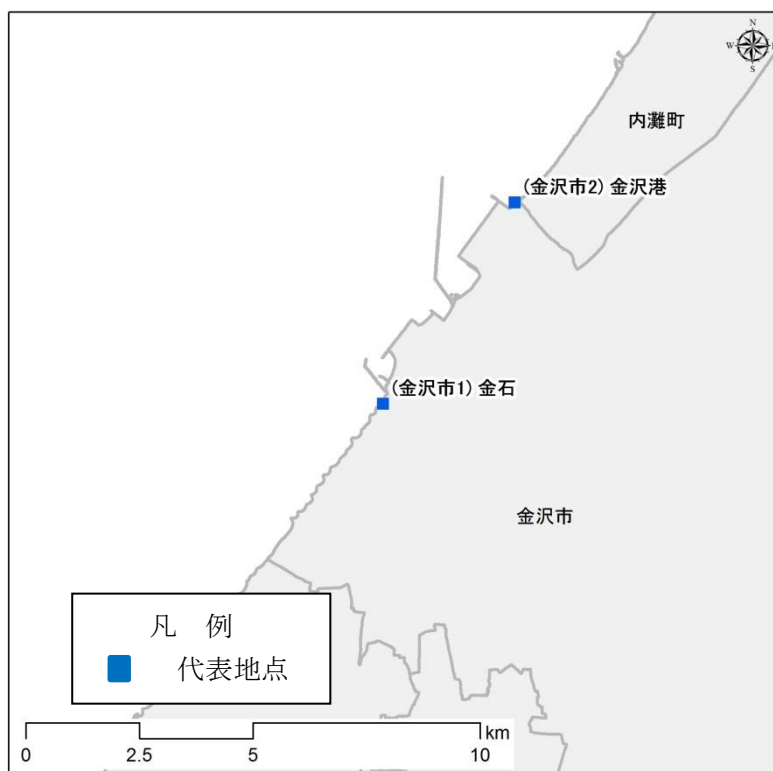


※ 津波が最も早く到達するケースと津波が最も高くなるケースは同一である。



## (5) 金沢市

## ①津波高等

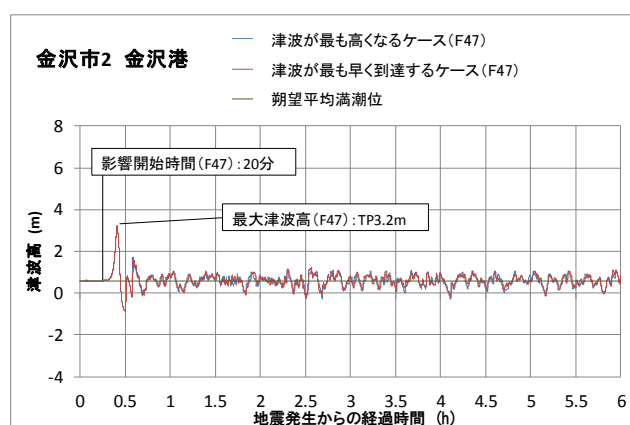
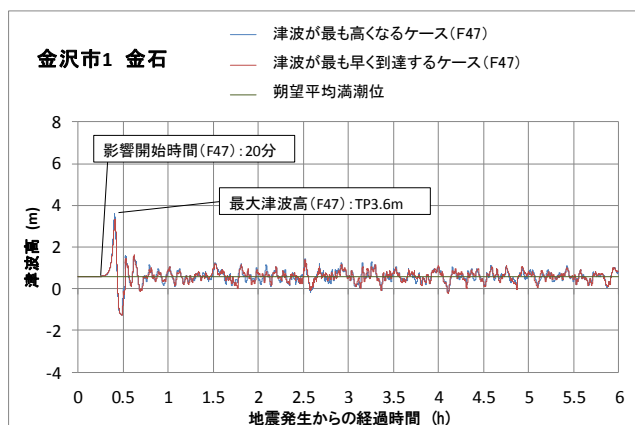


市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間(分)	最大津波高(T.P. m)	最大津波到達時間(分)	断層	影響開始時間(分)	最大津波高(T.P. m)	最大津波到達時間(分)
金沢市	1 金石	F47	20	3.6	24	F47	20	3.3	24
	2 金沢港	F47	20	3.2	24	F47	20	3.2	24

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

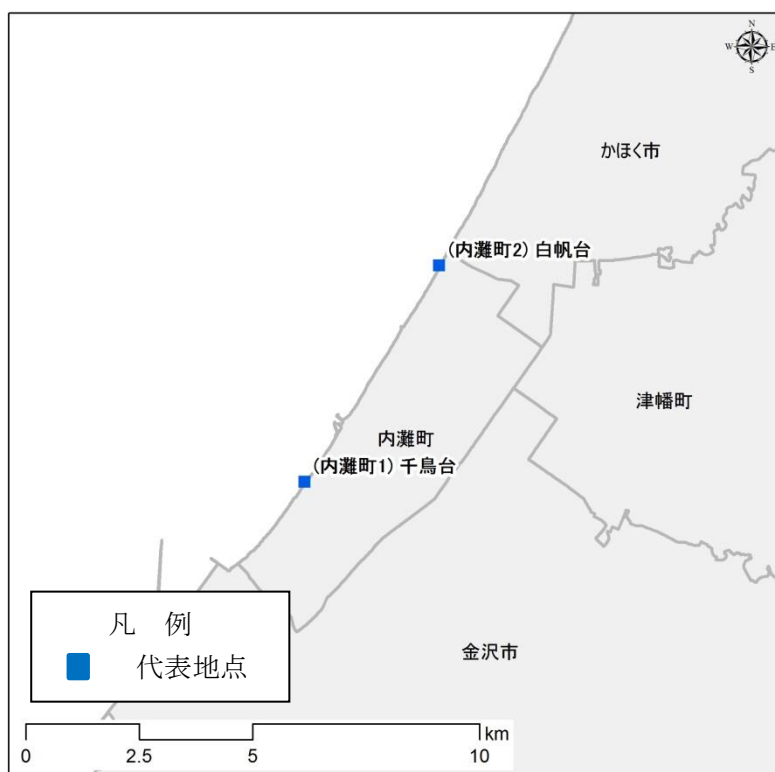
「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

## ②津波高の時間変化



## (6) 内灘町

## ①津波高等

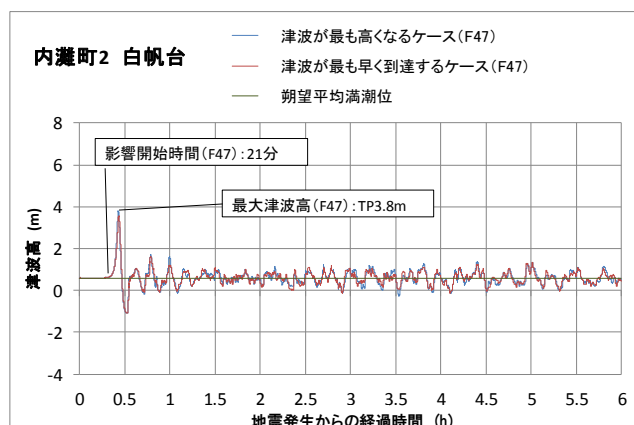
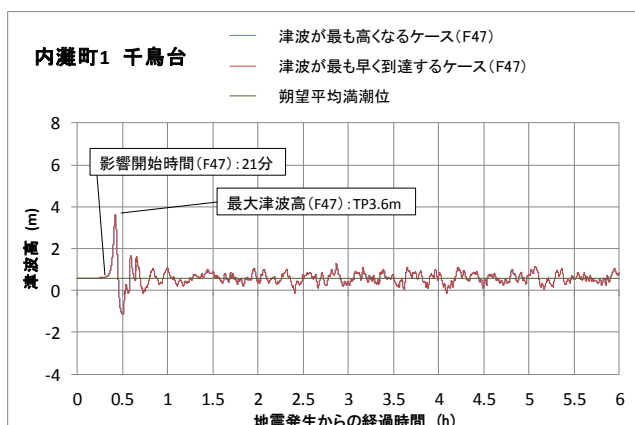


市町	代表地点名		津波が最も高くなるケース			津波が最も早く到達するケース				
			断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
内灘町	1	千鳥台	F47	21	3.6	25	F47	21	3.6	25
	2	白帆台	F47	21	3.8	25	F47	21	3.6	26

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

## ②津波高の時間変化



※ 津波が最も早く到達するケースと津波が最も高くなるケースは同一である。

## (7) かほく市

## ①津波高等



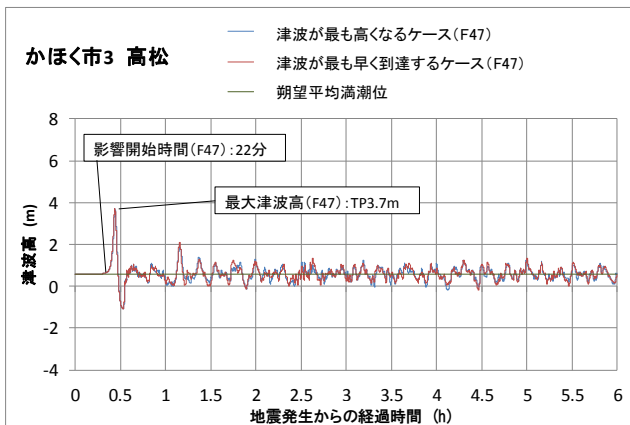
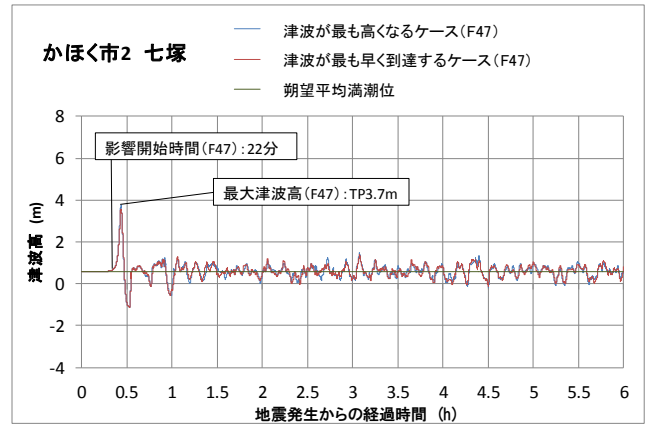
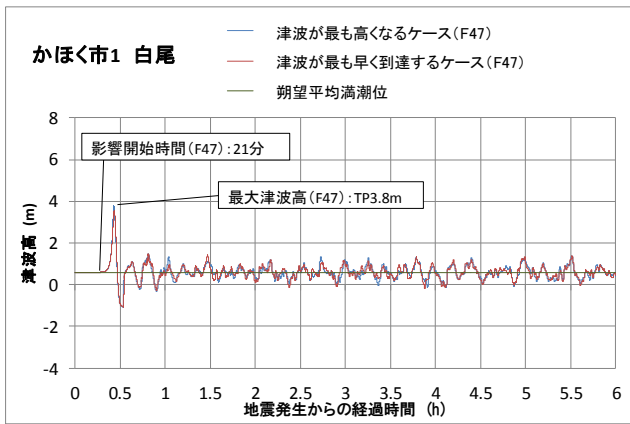
市町	代表地点名		津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
			断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
かほく市	1	白尾	F47	21	3.8	25	F47	21	3.6	26
	2	七塚	F47	22	3.7	25	F47	22	3.6	26
	3	高松	F47	22	3.7	26	F47	22	3.7	26

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。



②津波高の時間変化



(8) 宝達志水町

①津波高等

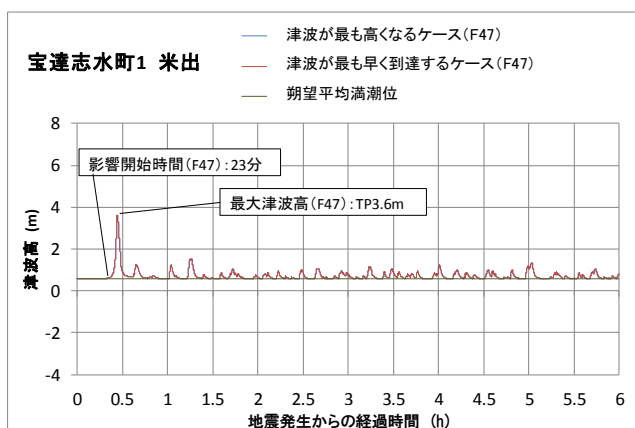


市町	代表地点名		津波が最も高くなるケース			津波が最も早く到達するケース				
			断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
宝達志水町	1	米出	F47	23	3.6	26	F47	23	3.6	26
	2	今浜	F47	24	3.3	27	F47	24	3.3	27

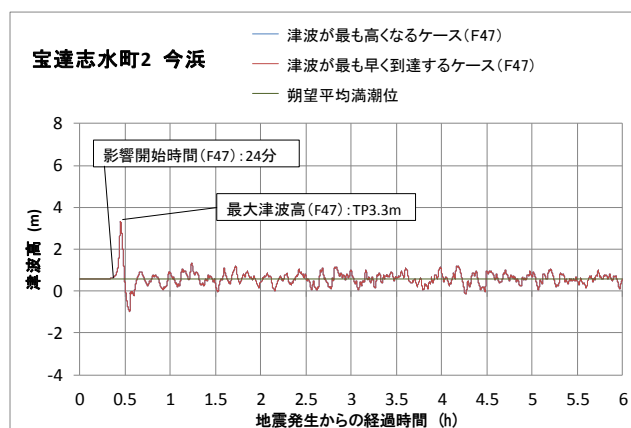
注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

②津波高の時間変化



※ 津波が最も早く到達するケースと津波が最も高くなるケースは同一である。



※ 津波が最も早く到達するケースと津波が最も高くなるケースは同一である。

## (9) 羽咋市

## ①津波高等

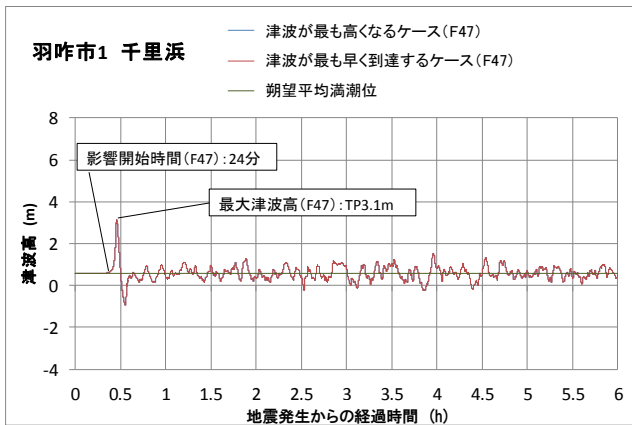


市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
羽咋市	1 千里浜	F47	24	3.1	27	F47	24	3.1	27
	2 滝港	F43	33	3.8	114	F47	21	2.4	24
	3 柴垣	F41	84	4.6	119	F47	23	2.4	25

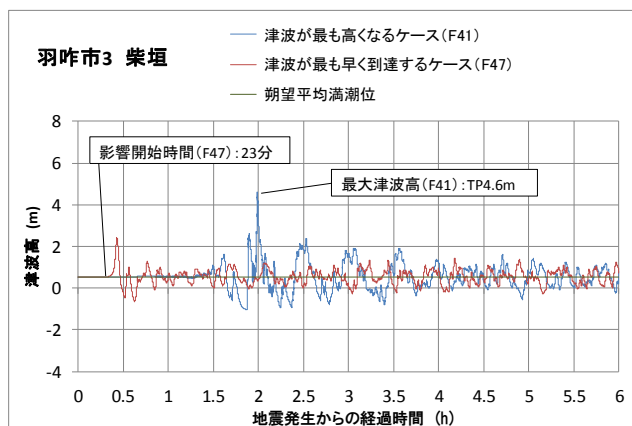
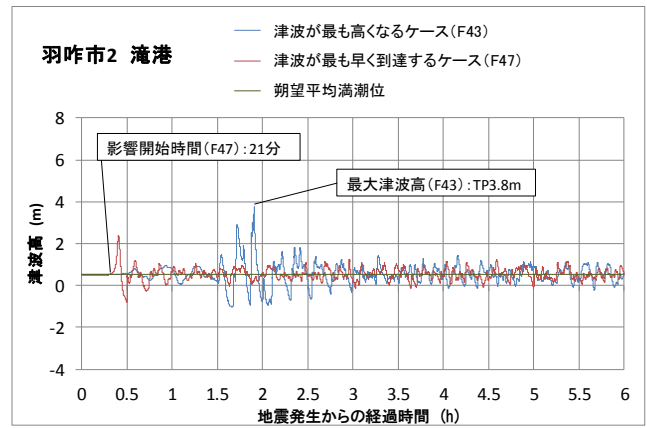
注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

②津波高の時間変化

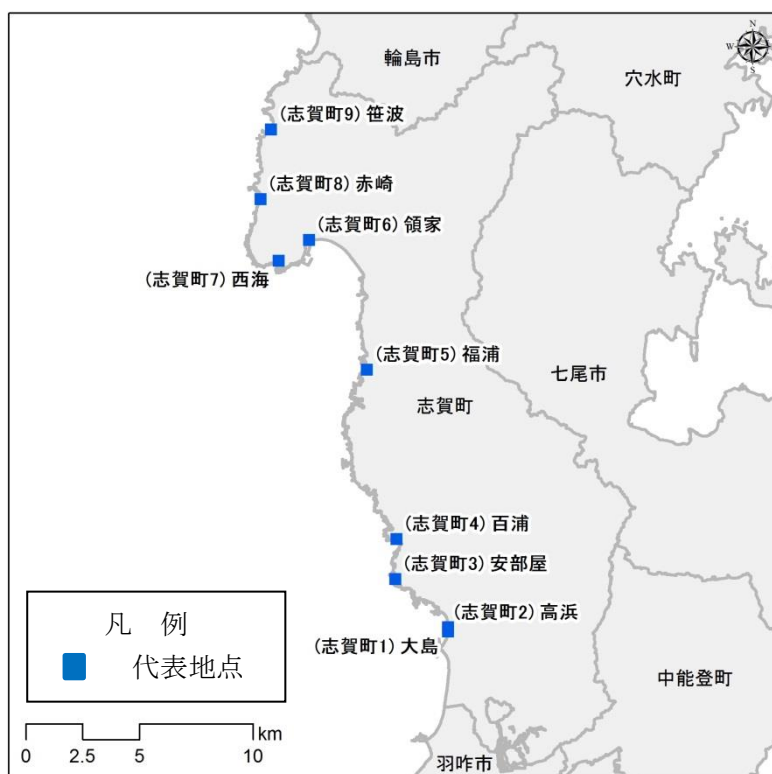


※ 津波が最も早く到達するケースと津波が最も高くなるケースは同一である。



## (10) 志賀町

## ①津波高等

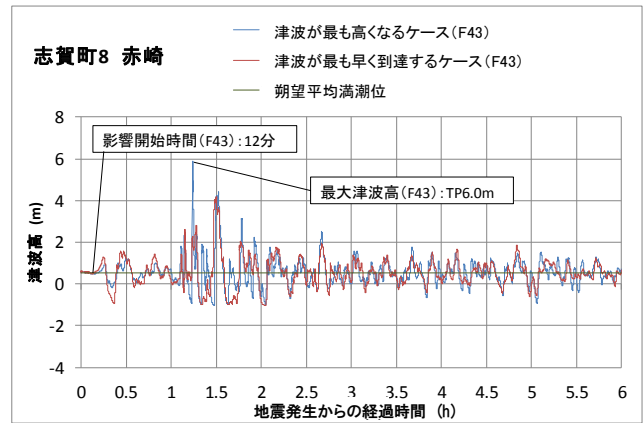
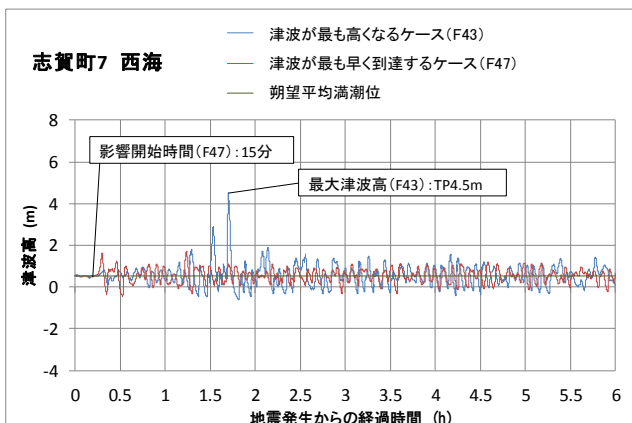
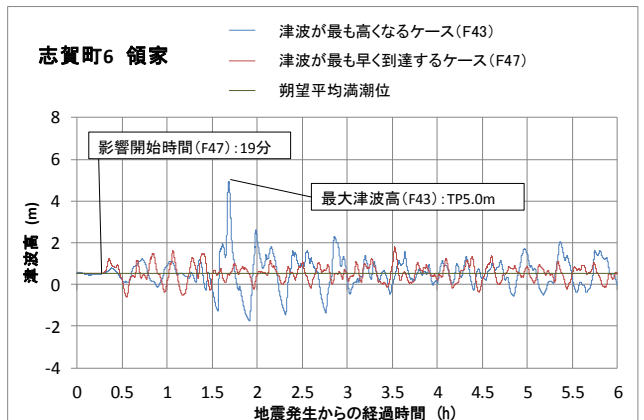
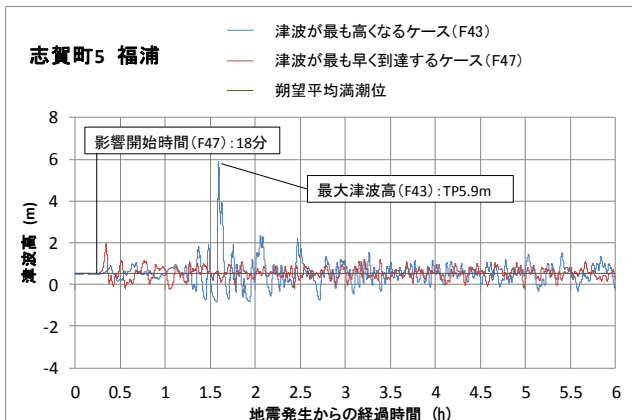
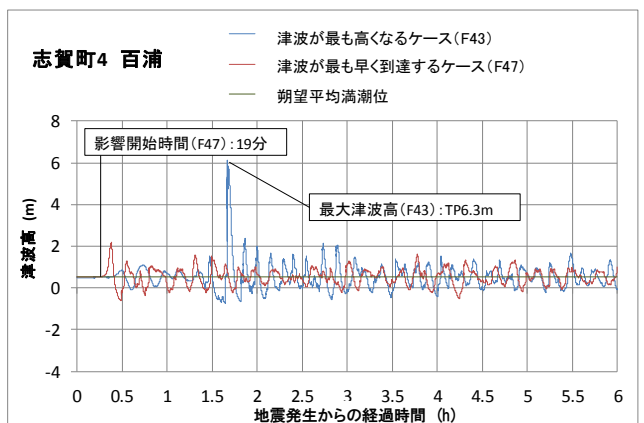
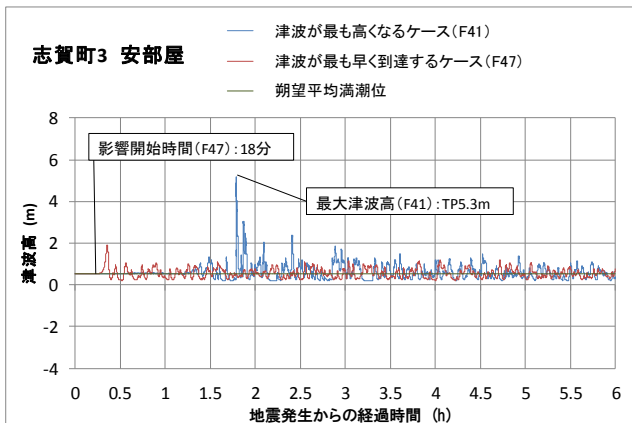
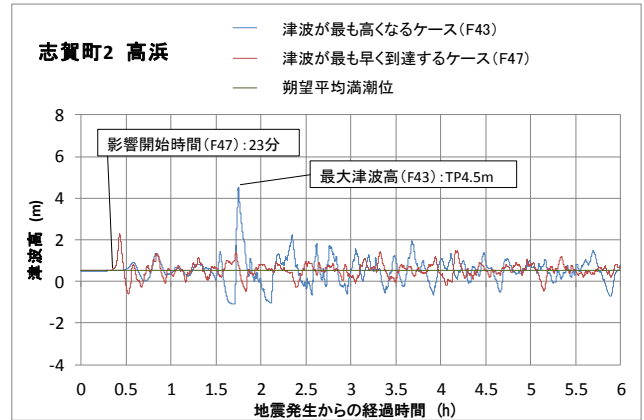
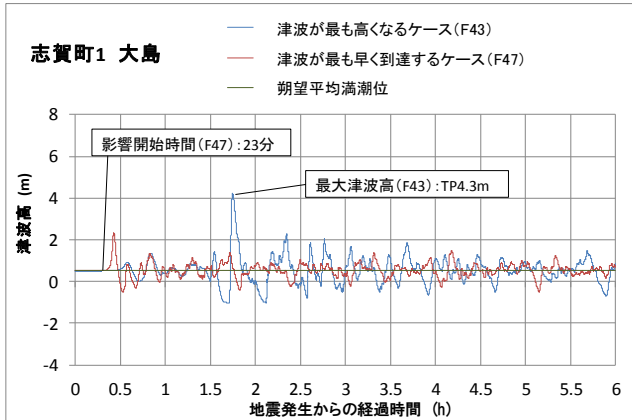


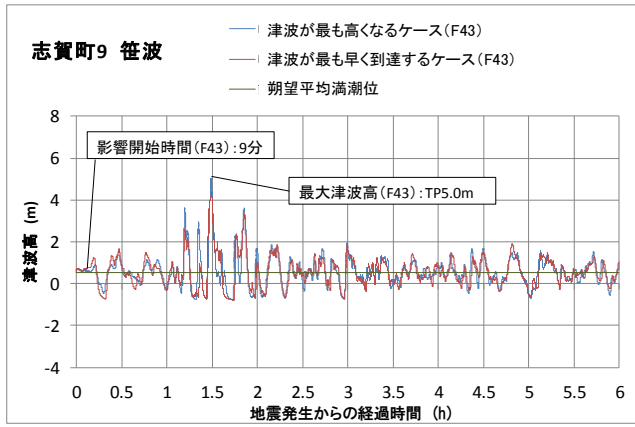
市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
志賀町	1 大島	F43	32	4.3	104	F47	23	2.4	25
	2 高浜	F43	32	4.5	104	F47	23	2.3	25
	3 安部屋	F41	79	5.3	107	F47	18	1.9	21
	4 百浦	F43	27	6.3	100	F47	19	2.2	22
	5 福浦	F43	22	5.9	95	F47	18	1.9	20
	6 領家	F43	22	5.0	100	F47	19	1.8	211
	7 西海	F43	18	4.5	102	F47	15	1.7	74
	8 赤崎	F43	14	6.0	74	F43	12	4.2	89
	9 笹波	F43	11	5.0	89	F43	9	4.4	89

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

②津波高の時間変化





## (11) 輪島市

## ①津波高等



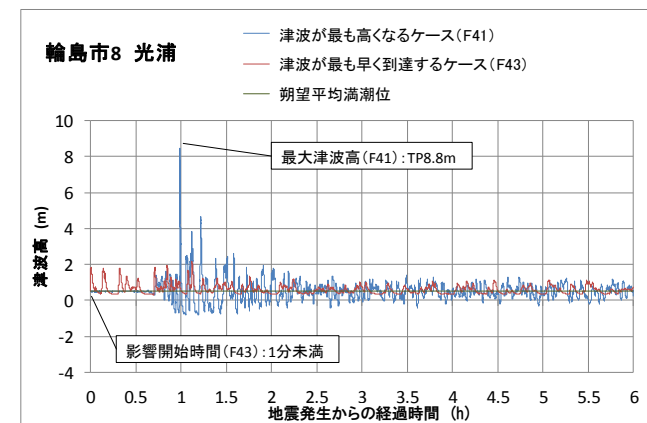
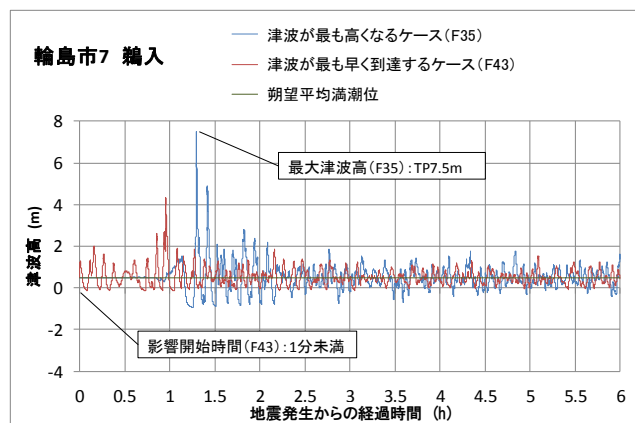
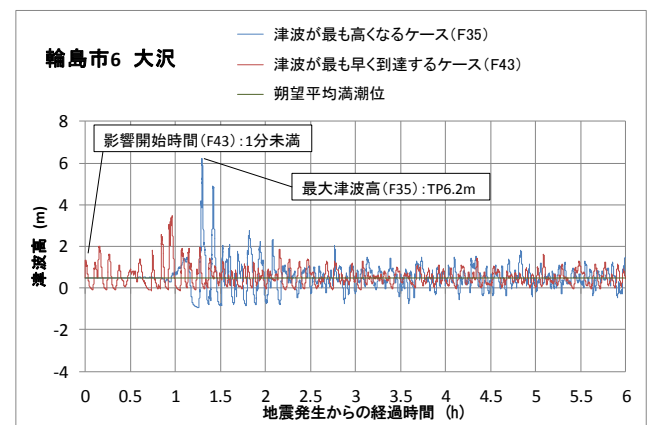
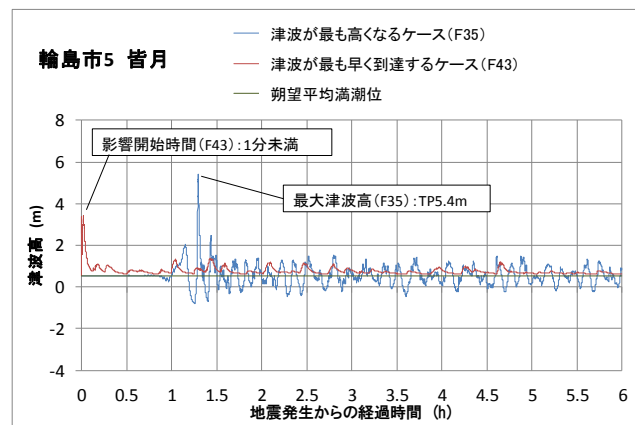
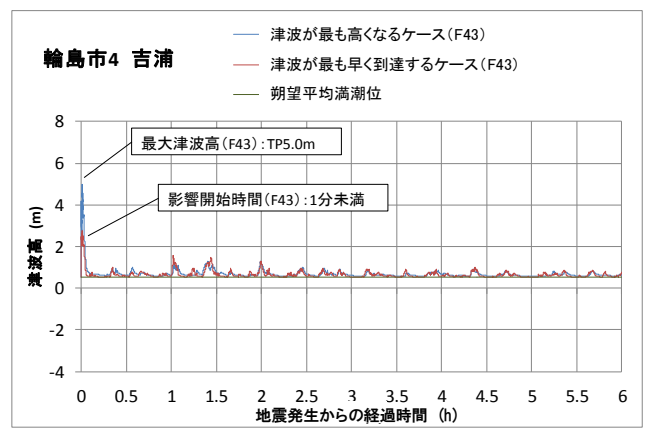
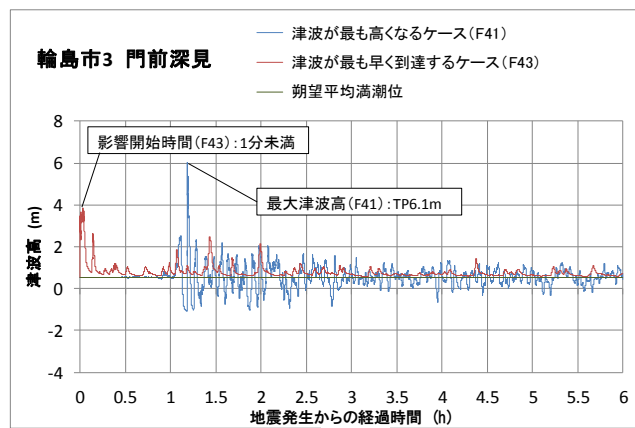
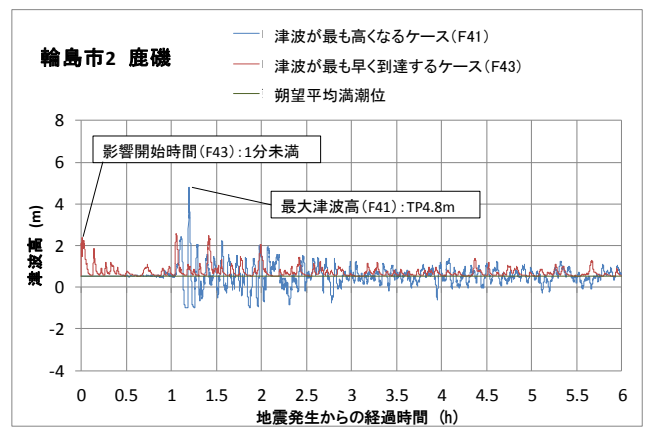
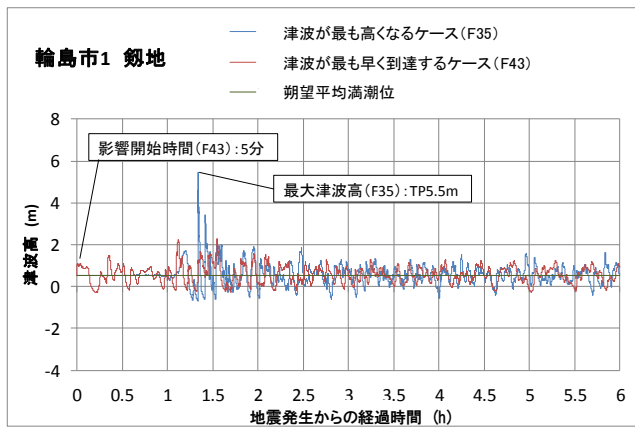
市町	代表地点名		津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
			断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
輪島市	1	劔地	F35	61	5.5	80	F43	5	2.3	92
	2	鹿磯	F41	55	4.8	71	F43	1分未満	2.6	63
	3	門前深見	F41	55	6.1	71	F43	1分未満	3.9	1
	4	吉浦	F43	1分未満	5.0	1分未満	F43	1分未満	2.8	1分未満
	5	皆月	F35	55	5.4	77	F43	1分未満	3.4	1
	6	大沢	F35	52	6.2	77	F43	1分未満	3.5	57
	7	鵜入	F35	56	7.5	77	F43	1分未満	4.3	57
	8	光浦	F41	42	8.8	59	F43	1分未満	2.2	67
	9	輪島	F42	37	6.3	56	F43	1分未満	3.1	27
	10	舩倉島	F43	21	9.4	26	F43	21	8.9	26
	11	惣領	F43	1分未満	5.0	1分未満	F43	1分未満	5.0	1分未満
	12	深見	F42	32	8.0	46	F43	1分未満	4.6	1
	13	名舟	F35	51	5.9	81	F43	1分未満	2.6	1
	14	曾々木	F35	48	6.7	81	F43	1分未満	4.4	1

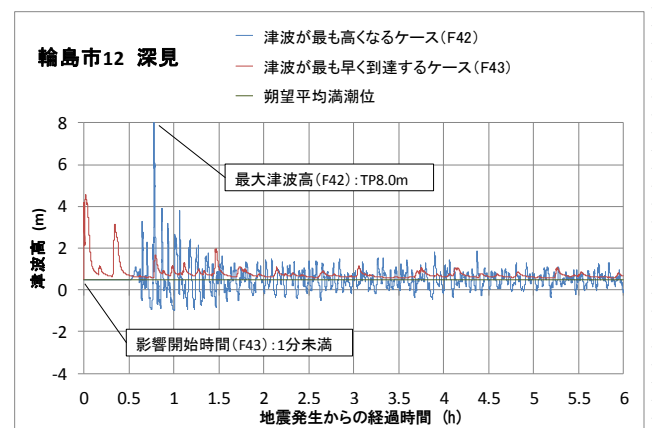
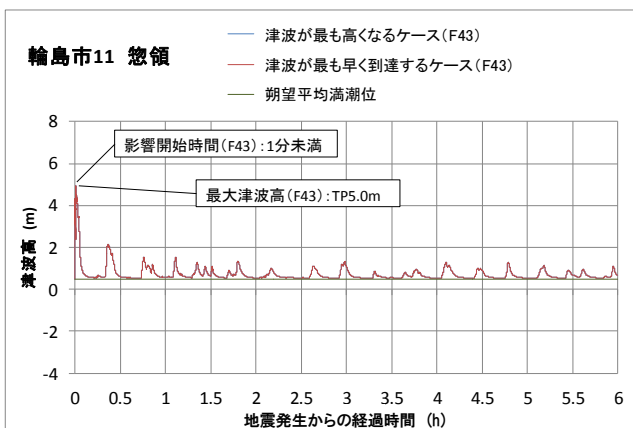
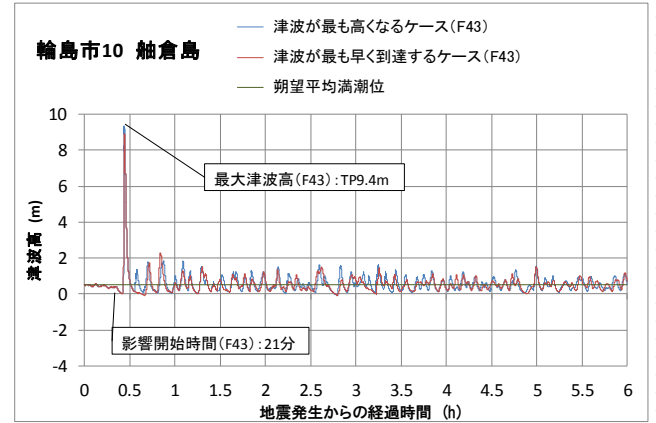
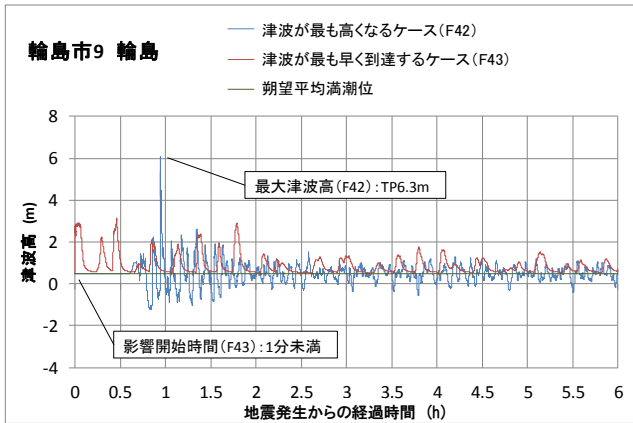
注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

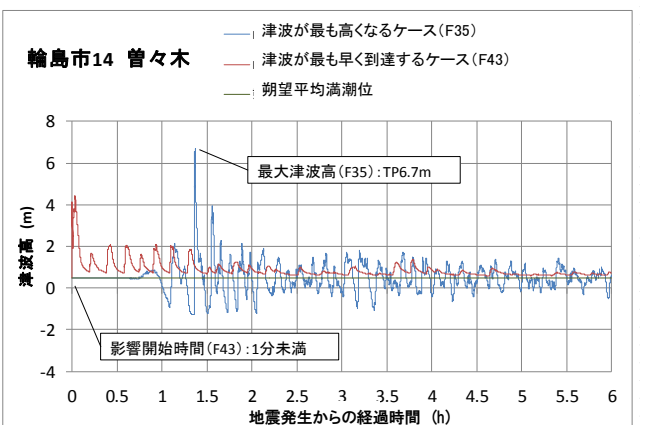
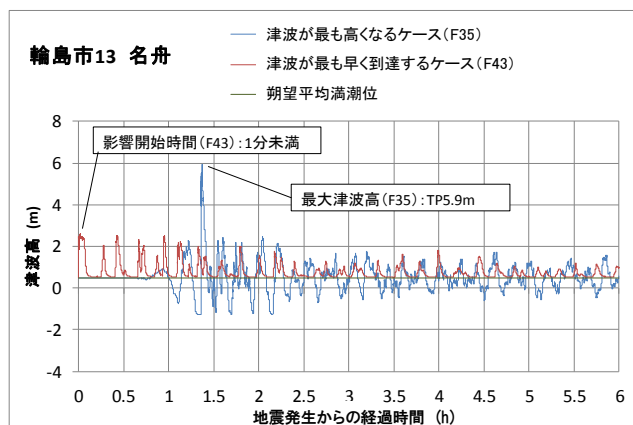


②津波高の時間変化





※ 津波が最も早く到達するケースと津波が最も高くなるケースは同一である。



## (12) 珠洲市

## ①津波高等

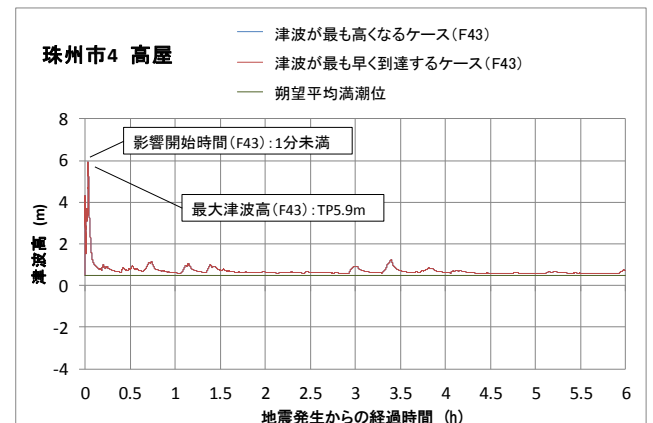
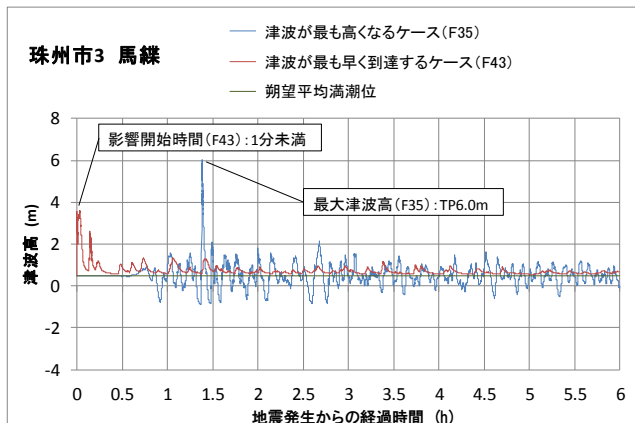
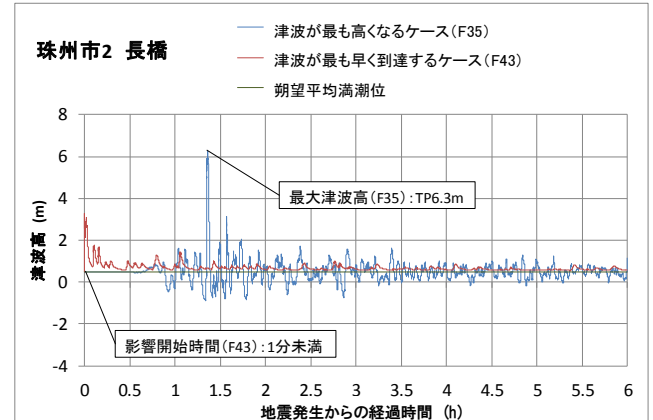
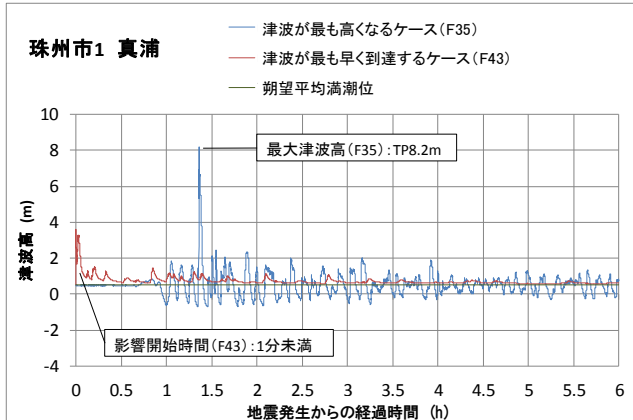


市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
珠洲市	1 真浦	F35	45	8.2	81	F43	1分未満	3.3	1
	2 長橋	F35	43	6.3	81	F43	1分未満	3.1	1分未満
	3 馬縹	F35	41	6.0	82	F43	1分未満	3.6	1
	4 高屋	F43	1分未満	5.9	1	F43	1分未満	5.9	1
	5 折戸	F41	15	7.6	20	F43	1分未満	5.3	3
	6 狼煙	F41	13	12.1	18	F43	1分未満	4.7	3
	7 寺家	F41	13	15.2	16	F43	5	3.4	27
	8 小泊	F41	10	20.0	15	F43	1	2.0	42
	9 蛸島	F41	11	8.9	17	F43	2	1.8	44
	10 能登飯田	F41	15	8.5	21	F43	2	2.2	39
	11 鵜飼	F41	15	6.4	23	F43	3	4.8	36

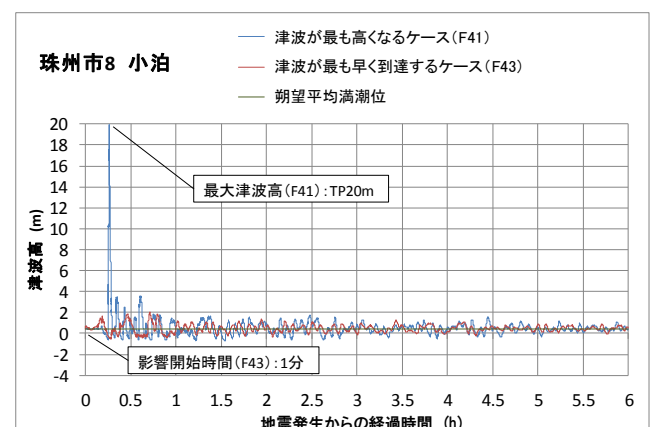
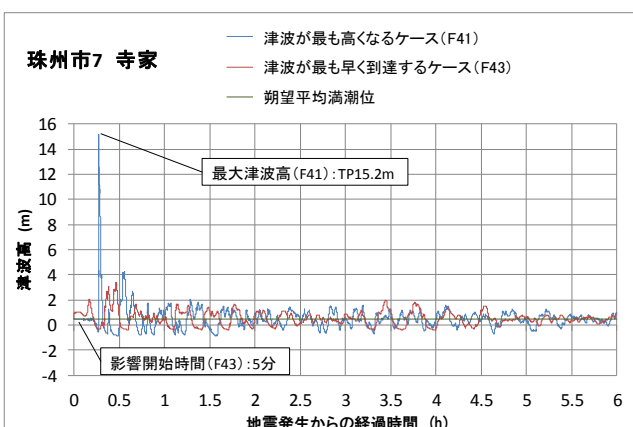
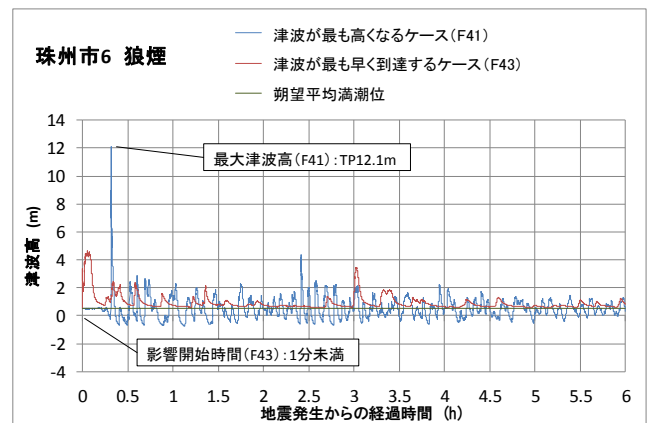
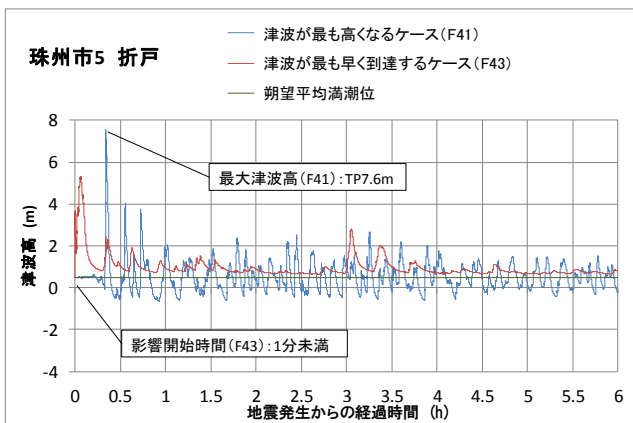
注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

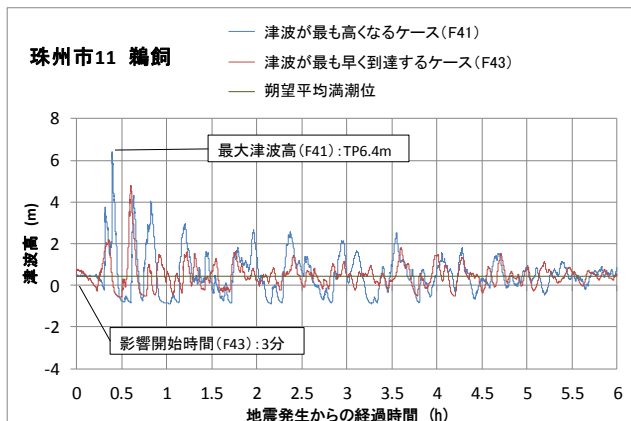
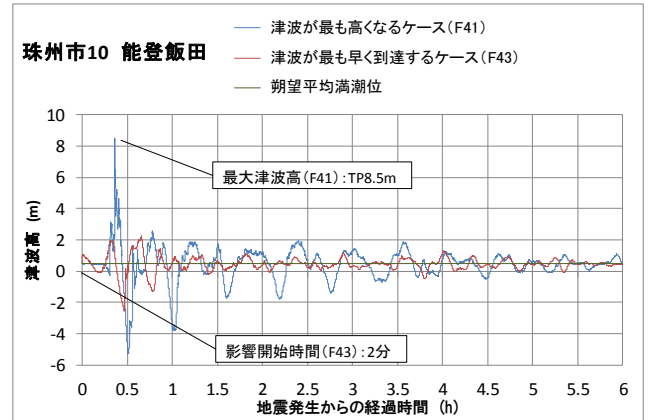
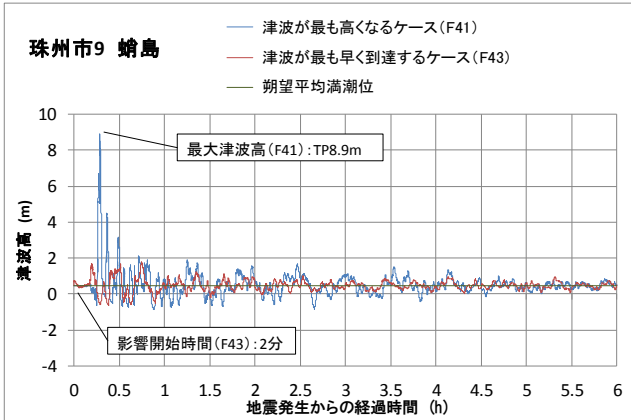
「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

②津波高の時間変化



※ 津波が最も早く到達するケースと津波が最も高くなるケースは同一である。





## (13) 能登町

## ①津波高等

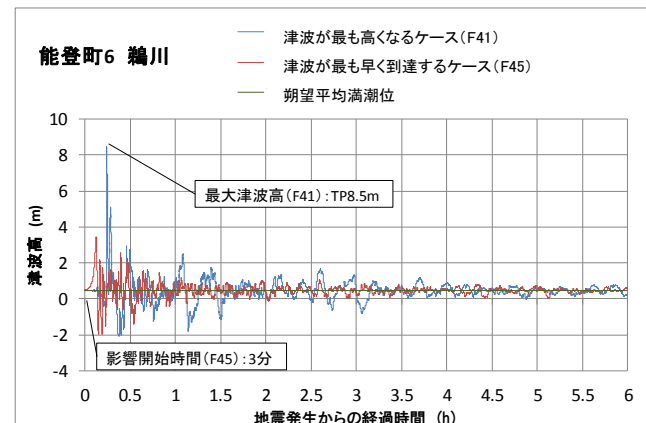
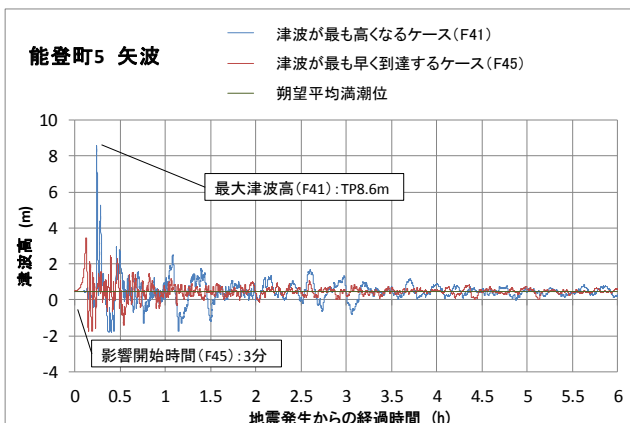
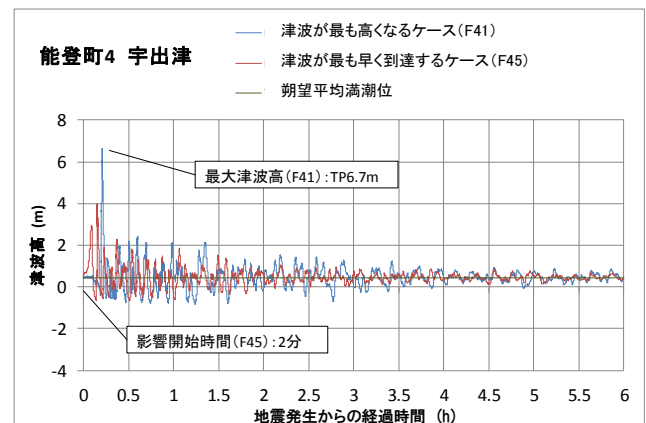
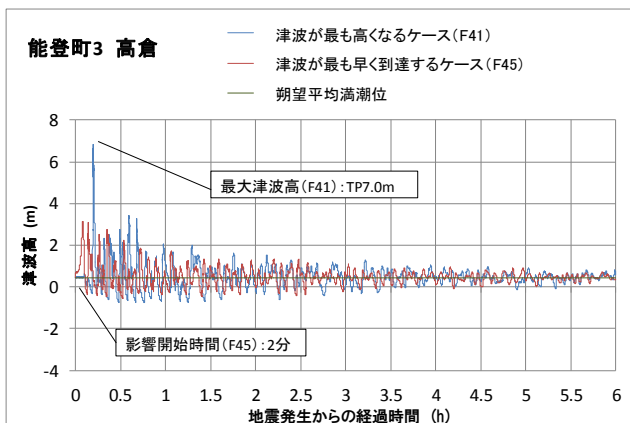
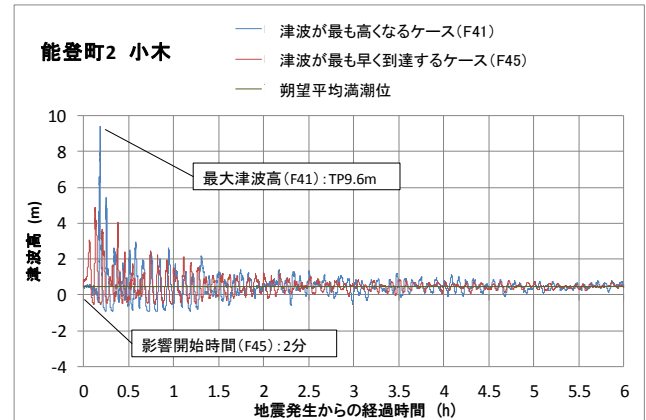
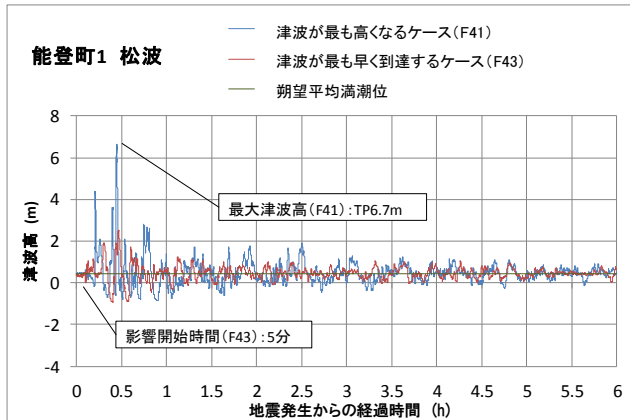


市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
能登町	1 松波	F41	7	6.7	26	F43	5	2.6	27
	2 小木	F41	5	9.6	10	F45	2	4.9	7
	3 高倉	F41	6	7.0	11	F45	2	3.2	8
	4 宇出津	F41	7	6.7	12	F45	2	4.1	9
	5 矢波	F41	8	8.6	14	F45	3	3.5	7
	6 鶴川	F41	8	8.5	14	F45	3	3.5	7

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

②津波高の時間変化



## (14) 穴水町

## ①津波高等



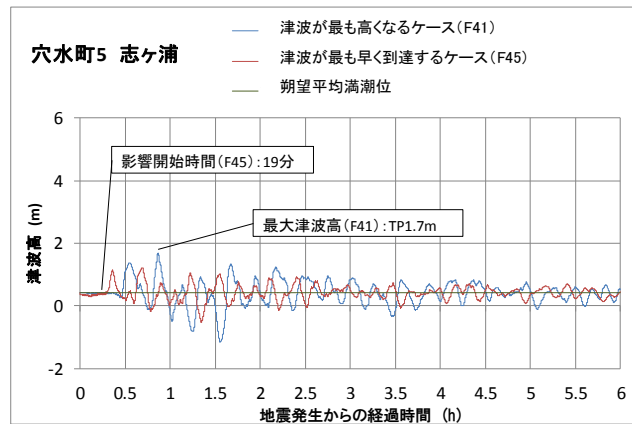
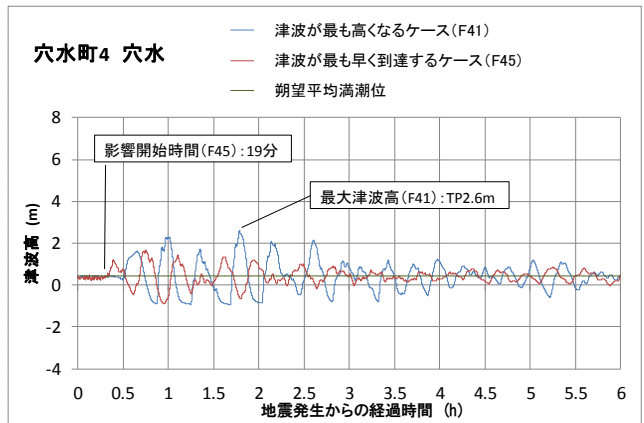
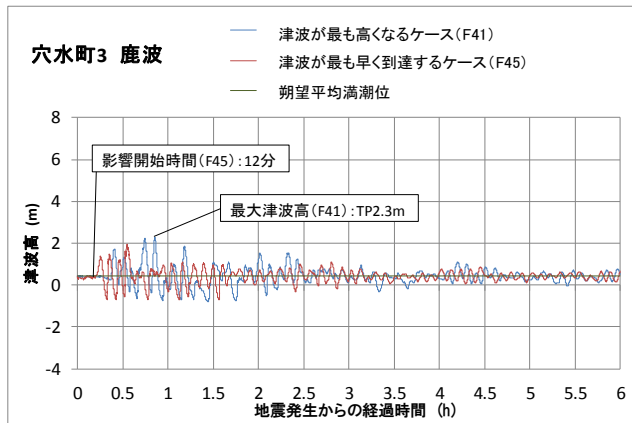
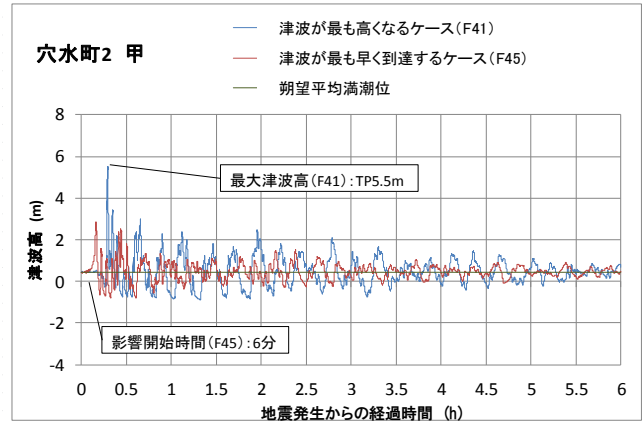
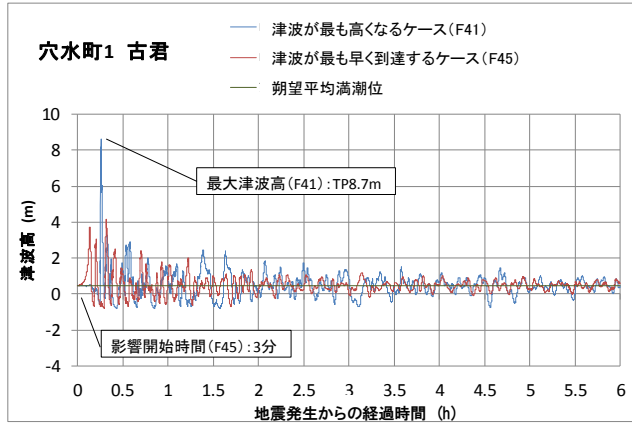
市町	代表地点名		津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
			断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
穴水町	1	古君	F41	10	8.7	15	F45	3	4.2	18
	2	甲	F41	13	5.5	17	F45	6	2.9	9
	3	鹿波	F41	22	2.3	51	F45	12	2.0	32
	4	穴水	F41	31	2.6	107	F45	19	1.7	44
	5	志ヶ浦	F41	28	1.7	51	F45	19	1.3	40

注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。



②津波高の時間変化



## (15) 七尾市

## ①津波高等

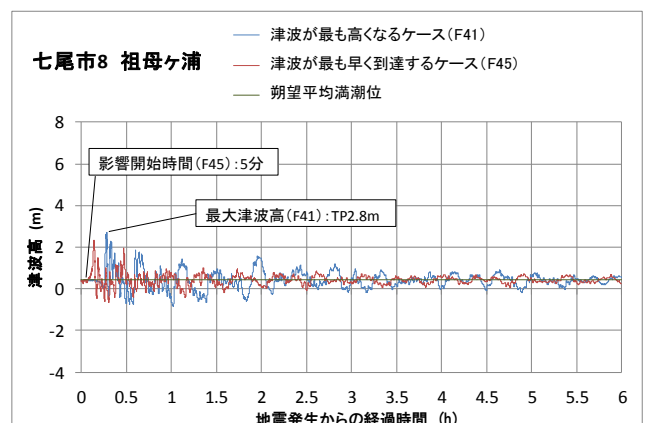
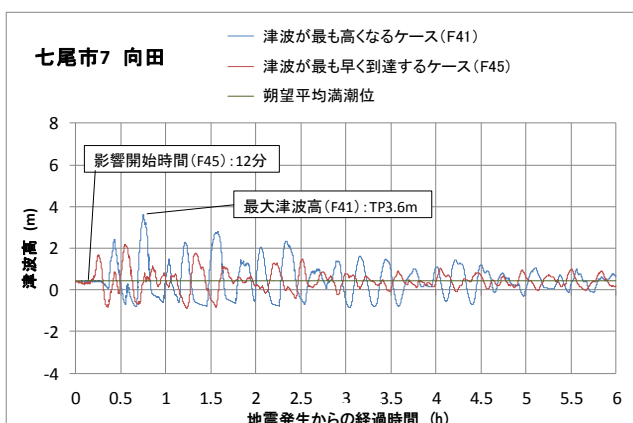
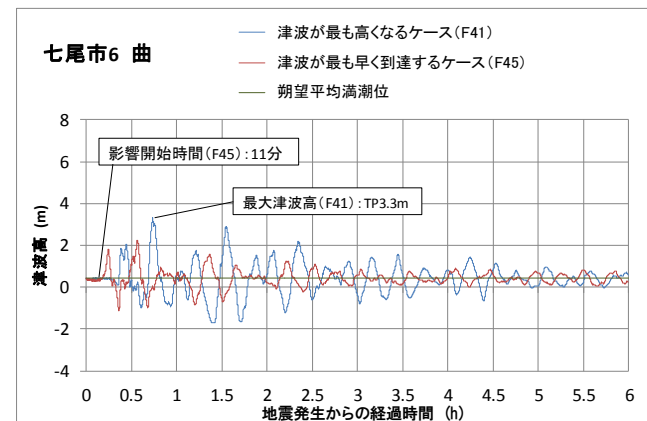
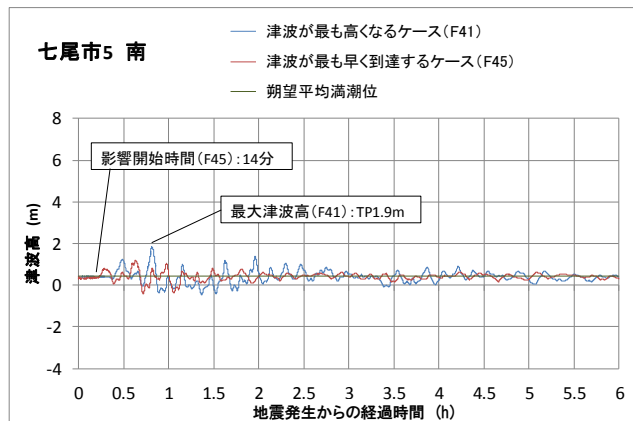
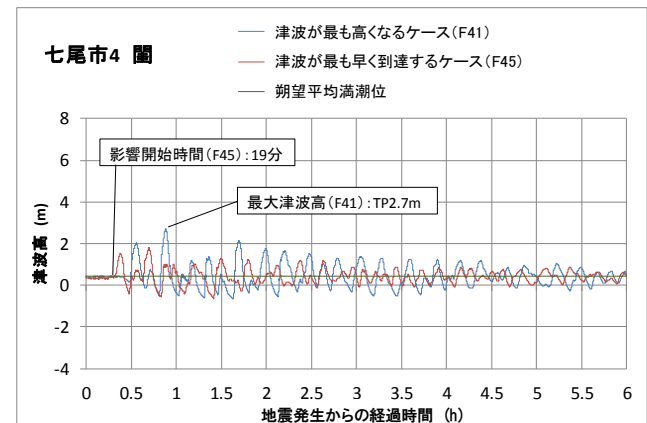
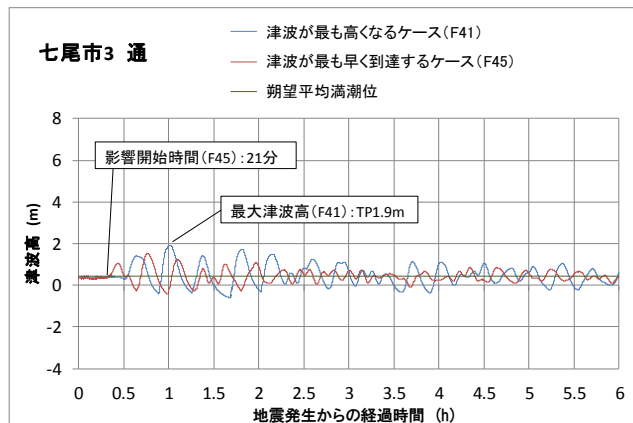
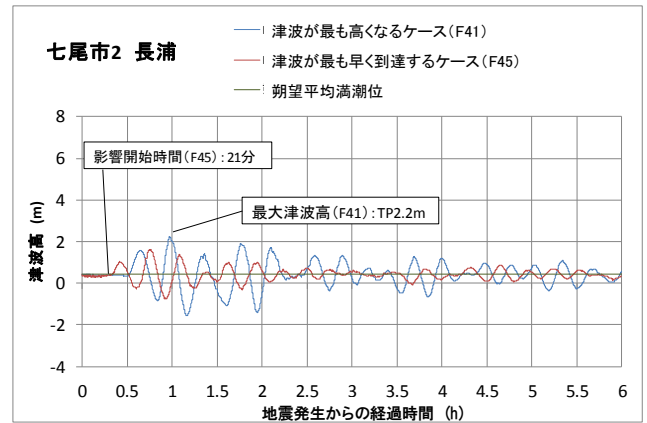
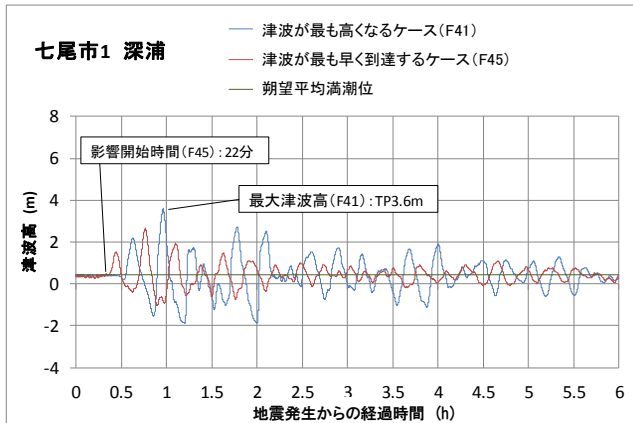


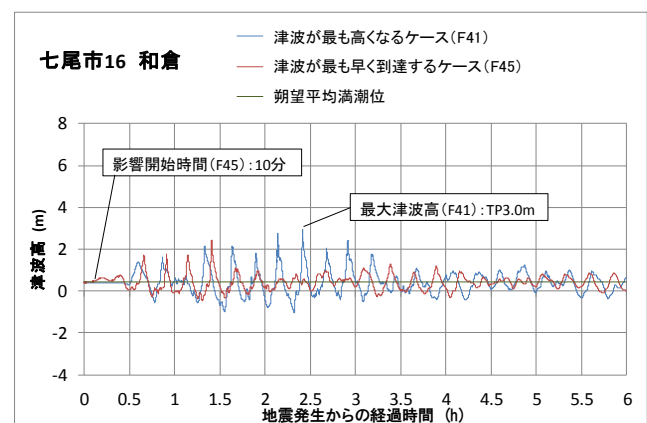
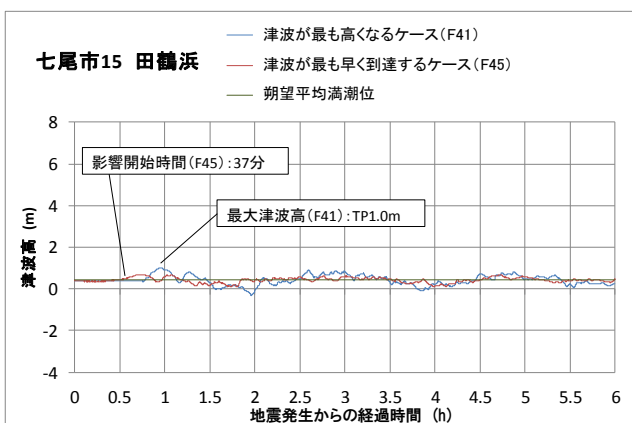
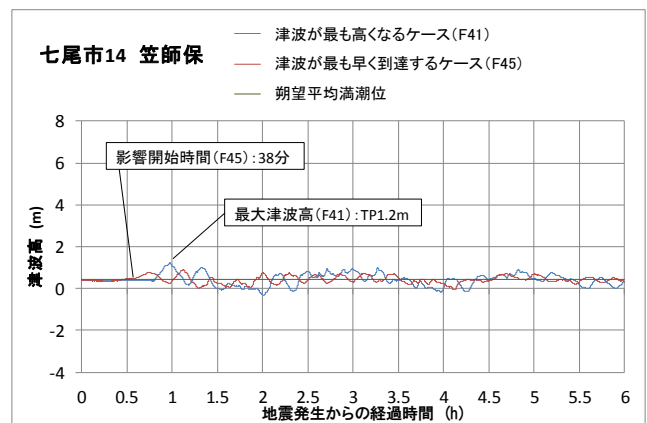
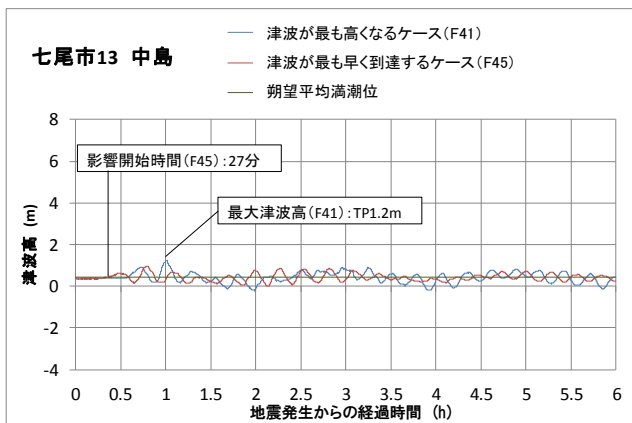
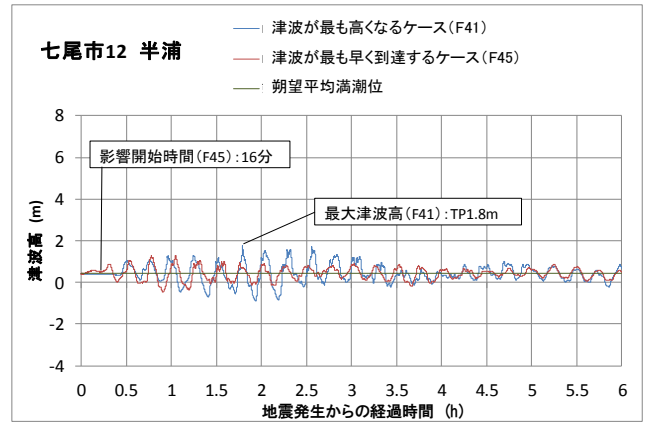
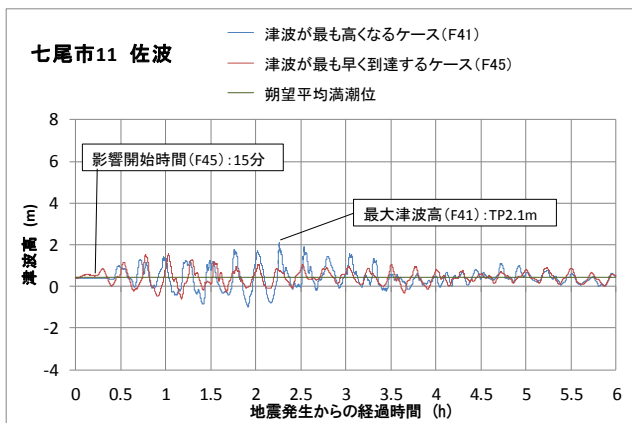
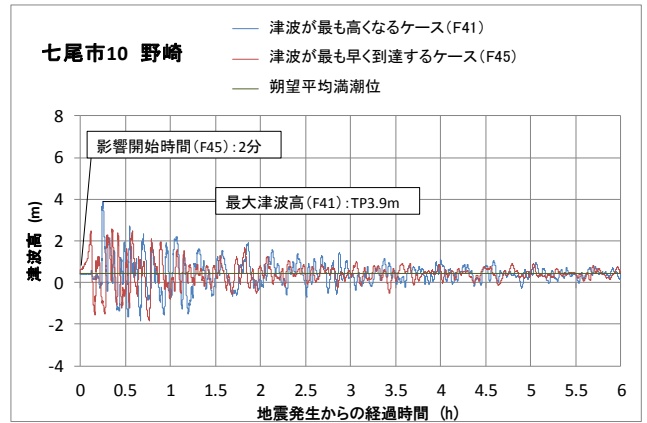
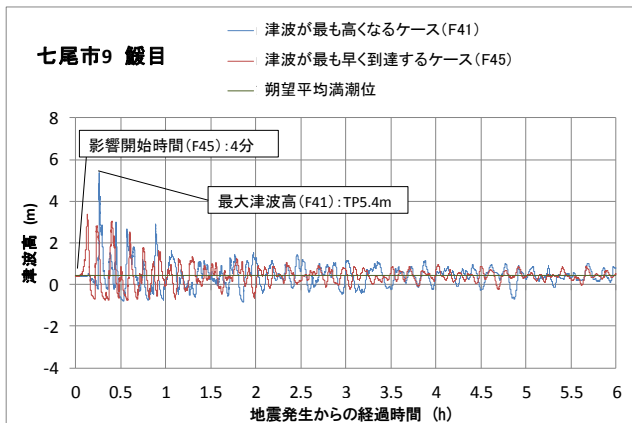
市町	代表地点名	津波が最も高くなるケース				津波が最も早く到達するケース			
		断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)	断層	影響開始時間 (分)	最大津波高 (T.P. m)	最大津波到達時間 (分)
七尾市	1 深浦	F41	31	3.6	57	F45	22	2.7	45
	2 長浦	F41	32	2.2	58	F45	21	1.7	44
	3 通	F41	33	1.9	61	F45	21	1.6	45
	4 閨	F41	27	2.7	52	F45	19	1.9	41
	5 南	F41	24	1.9	48	F45	14	1.3	37
	6 曲	F41	19	3.3	43	F45	11	2.3	33
	7 向田	F41	19	3.6	44	F45	12	2.2	32
	8 祖母ヶ浦	F41	13	2.8	16	F45	5	2.4	8
	9 鰻目	F41	11	5.4	15	F45	4	3.4	7
	10 野崎	F41	7	3.9	14	F45	2	2.6	21
	11 佐波	F41	26	2.1	135	F45	15	1.6	61
	12 半浦	F41	27	1.8	107	F45	16	1.3	62
	13 中島	F41	37	1.2	60	F45	27	1.0	47
	14 笠師保	F41	50	1.2	58	F45	38	1.0	67
	15 田鶴浜	F41	49	1.0	57	F45	37	0.7	46
	16 和倉	F41	31	3.0	144	F45	10	2.4	84
	17 七尾港	F41	31	2.5	125	F45	10	1.4	83
	18 三室	F41	14	3.5	17	F45	6	2.6	50
	19 鵜浦	F41	7	7.6	13	F45	3	3.6	9
	20 江泊	F41	8	4.4	14	F45	2	3.5	5
	21 百海	F41	8	3.9	12	F45	1	3.7	4
	22 下佐々波	F45	1	7.8	8	F45	1	7.8	8

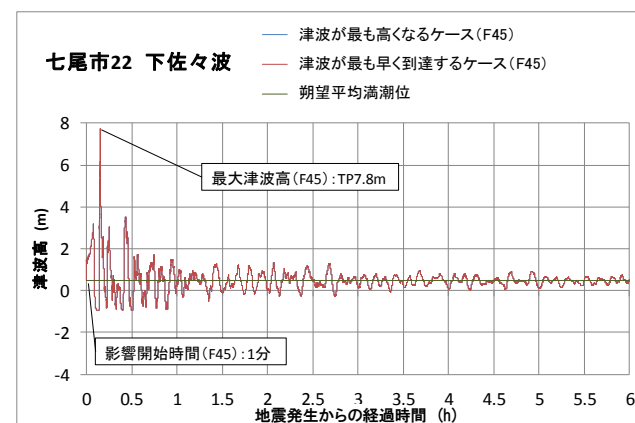
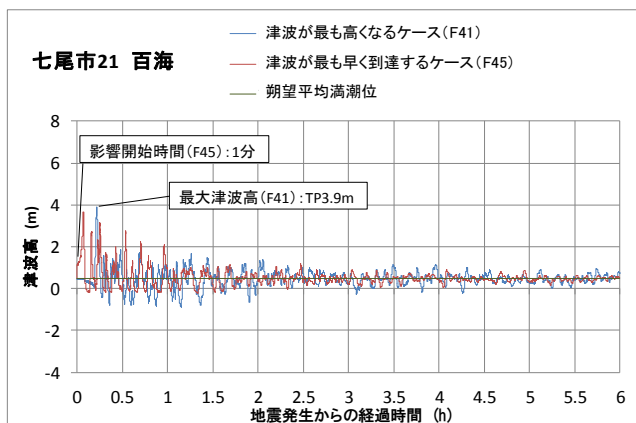
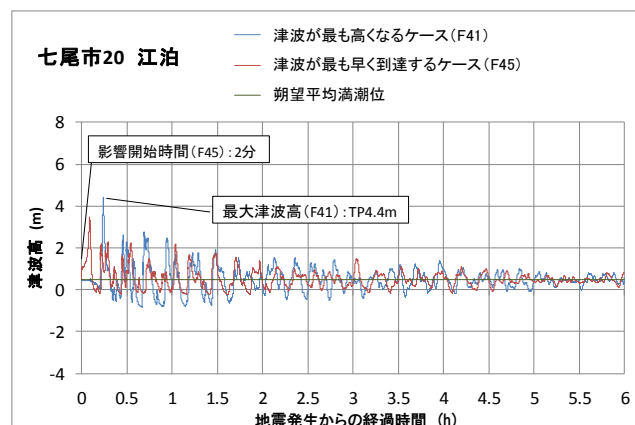
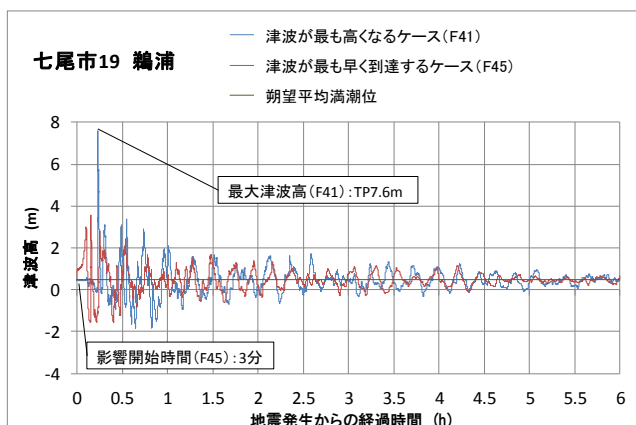
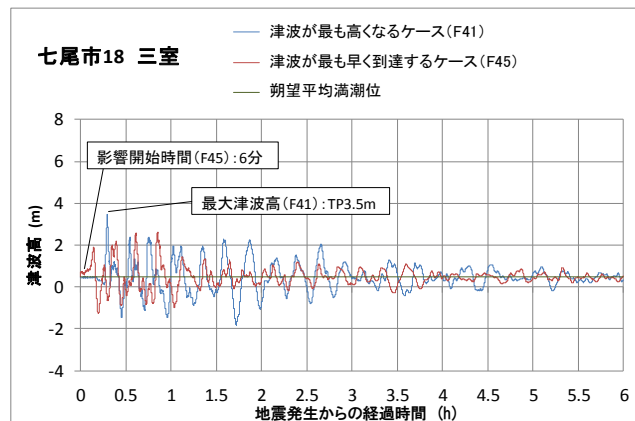
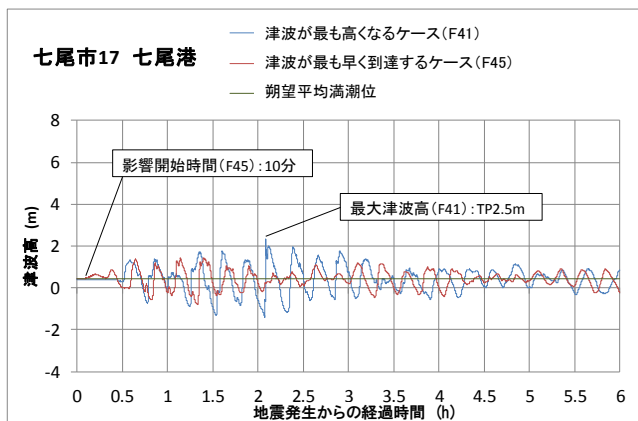
注) 各代表地点はそれぞれの地点付近の決められた範囲内のメッシュにおいて、最大の津波高の地点で値を取得しています。

「影響開始時間(分)」および「最大津波到達時間(分)」については、地震発生時からの時間であり、分未満は切り捨てとしています。

②津波高の時間変化







※ 津波が最も早く到達するケースと津波が最も高くなるケースは同一である。

### 3. 津波浸水想定の検討体制

津波浸水想定については、学識者で構成する「石川県津波浸水想定調査検討会」において、様々な意見をいただき作成しました。

表 石川県津波浸水想定調査検討会委員名簿

氏名	現職	分野	備考
北浦 勝	金沢大学名誉教授	地震・津波 (地震工学)	◎委員長
宮島 昌克	金沢大学理工研究域 環境デザイン学系教授	地震・津波 (地震工学)	
平松 良浩	金沢大学理工研究域 自然システム学系教授	地震 (地震学)	
岡村 行信	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門主席研究員	地震 (地質学)	